京城日報

十一月十三日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇休戰期間内に講和會議開會か 聯合國監視の要

休戰期間は十一月十一日より向ふ三十日間と決定せられたるを以て獨逸は此期內に於て總ての調印條件の履行を爲さゞるべからず是に對し聯合側に於ては獨逸が果して協定通り履行するや否やを十分に監視するの要あり陸上方面に於ては聯合國休戰委員に於て占領地の撤退大砲五千門機關銃三萬挺及び軍需品鐵道車輛等の引渡を受くべく又海上方面に於ては聯合側海軍委員管掌の下に超弩級戰艦十一隻巡洋艦六隻の外[illegible]艦隊及び潛水艇百六十隻の引渡を受け且つ開戰以來拿捕されたる英國及び聯合國商船の引渡を受くべし而して是等の條件を履行するには相當の時日を要するは勿論なるも獨逸が講和成立を急ぎつゝある關係上速に條件全部の遂行を期するなるべく協定の期間內に於て既に講和會議開會の段取りとなるべし若し萬一條件履行又は講和會議に於て頓挫行き悩みを來すが如き場合に於ては直ちに再び戰鬪開始せらるゝ筈なるも目下獨逸國内の混亂名狀すべからざるものあるを以て到底軍閥派の主張は許されず政府に依りて何處迄も講和促進に努むるならんと觀測せらる（東京特電）

◇講和依賴感受

十二日朝船橋無線電信局に感受せし處に據れば獨逸は講和の斡旋を米國大統領に依賴せり（東京特電）

◇珍田大使正使か

休戰條約成立し休戰期間の決定を見るに至りし曉は講和會議は遠からずヴェルサイユにて開會の運びに至るべく我國よりは正使として一流の外交家の派遣を必要とするも若し同會議の開會早きに於ては自然旅程の關係上特別に派遣する事無く珍田大使をして正使たらしむべしと（東京特電）

◇マ公攝政と宰相

獨逸マキシミリヤン公は攝政に選ばれ其攝政期間中エーベルトは宰相として執務す可し（倫敦電報）

◇獨帝皇后消息

紐育來電＝海牙よりの報道に依れば獨帝ウイルヘルム二世及び皇后皇太子並にヒンデンブルグ元帥其他多數の獨逸參謀本部々員は和蘭に入りアルンヘイム附近某伯の館に赴けりと（東京特電）

◇墺皇帝皇后遁避

紐育來電＝墺國皇帝カール一世及び皇后は西班牙ワルデグ城に遁れたり（東京特電）

◇キール運河閉鎖

獨逸はキール軍港暴動鎮壓の爲め運河を閉鎖せり（アムステルダム電報）

◇勞兵會罷業宣言

伯林發電＝勞兵會議は獨逸に於る一般的罷業を宣言せり多數の

兵士は革命派に投じつゝあり（東京特電）

◇ヒ元帥新政府に委ぬ

伯林發電＝ヒンデンブルグ元帥は混亂を避けんが爲め自身及び麾下の獨逸軍隊を伯林に於る新なる民衆政府の任意處分に委せたり（東京特電）

◇外交調査會 講和審議

十二日外務省にて重要會議開會されたるが十三日外交調査會を開會し講和會議に臨む可き重要問題を審議せり（東京特電）

◇重要問題協議

十二日の定例閣議は午前十一時より永田町首相官邸に於て開會原首相以下各大臣出席内外重要問題に就き協議する所あり正午散會したり（東京特電）

◇小口落一部改正

政府は嚢に小口落しを禁止したるが最近省令を以て禁止の一部を改正す可しと（東京特電）

○帝國の講和態度 英佛駐劄兩大使特派か

▽聯國の申合 巴里に於ける聯合國最高軍事外交會議は四日を以て休戰條件を決定したるを以て直にフォッシュ將軍をして之を獨逸委員に交付せしむると共に決定すると共に參列せる聯合各國の外交委員は左の申合せをなしたり

敵國に對する休戰條件決定したるを以て敵國が該條件を完全に實行する時を俟ちて講和の商議に入るべきものなれば聯合各國は講和正式會議の事前に講和に關する聯合國間の條件を統一し置くの要あり依つて各國政府は可成速かに具體的條件を提出し之れを巴里會議に於て審議統一すること

▽講和基礎案 右申合の結果を松井駐佛大使より此旨帝國政府に報告あるや帝國政府に於ては愈茲に具體的態度を決定する必要に迫りたるを以て一昨年我對獨軍事行動の一段落を機とし外務省に於て講和準備委員會を開設し該會議に於て決定したる我講和條件の基礎案に就て急遽審議を續行し決定條件をなすことゝし七日以來連日外務省に於て內田外相以下各關係者此決定條件作成の會議を開き十三日の外交調査會に此決定條件を附議し右承認を經たる上上奏裁可を經て巴里會議に提出すべしと信ずべき理由あり

▽條件の內容 帝國政府の決定條件は上述の如く外務省に於て作成中なるが其內容は勿論嚴秘を要すべきものにして報道すべき材料を有せりと雖も茲に掲載するを得ざるを遺憾とするが大體に於ては我軍事行動の一段落を機として作成したる案を骨子としたる○○○○の處分、○○問題等が其重要なるものと雖も此外の重要問題として審議を要すべき問題は即ち米國大統領の指示せる基礎十四箇條及び米國大統領の七月四日マウント、バーノンの演說要領を基礎として講和の商議に入ることを承認する旨聲明しあるを以て之れを如何に講和の際解釋を下すか又國際聯盟の問題に對しても帝國政府が意見開陳の必要ある可く從つて帝國政府の講和會議に對する態度決定條件の內容は單に○○、○○兩問題等の外斯る問題にも踏入らしめるものなりと思惟せらる

▽珍田子特派 外務省に於ける會議に於て以上の必要なる諸問題に對する態度は略決定したりと信ぜらるゝを以て夫々上述の如き順序を經て商議決定したる上は珍田駐英大使は正式に帝國政府を代表し全權委員として此決定案を攜して巴里に於ける聯合國の講和條件の打合せ重要會議に列席すべきことに決定し松井駐佛大使は多少珍田大使の下に副委員たるべしと思惟せらる（東京）

○輸出品取締令改正

十四日總督府令を以て戰時中物品輸出取締に關する件第一條硝石青化加里、青化曹達、青化加里又は青化曹達を含む青化物類及び錫を鍍したる鐵板及び鋼板（葉鐵及び葉鋼）同第二條中硝石青化加里青化曹達を含む青化物類錫を鍍したる鐵板及び鋼板（葉鐵及び葉鋼）に改正する旨總督府官報にて發布さるべきが他に附則として本令施行期を十一月十五日及び右府令發布の日に屬たる許可は發布の日より三箇月間其効力を有する旨定めらる

○鮮銀佛債賣出

朝鮮銀行にては今回佛國政府が日本に於て發行する千九百十八年佛政府國庫債劵五千萬圓をシンヂケート銀行の一として引受け東京大阪神戶三支店にて賣出す事となりしが本店並に大連支店等にて便宜其の取扱をなすべし主要の條件左の如し

▲債劵種類 利札附無記名一千圓劵五千圓劵一萬圓劵▲日附 十一月二十六日▲償還期日 大正十年十一月二十五日▲利率 年六分▲利子支拂期日 五月二十五日及び十一月二十五日▲元利金支拂場所 正金銀行日本各店▲發行價格 額面百圓に付九十八圓▲申込期間 十二日より十八日まで都合により期間內に締切るべし▲證據金 百圓に付二圓の割▲拂込期日及金額 十一月二十六日額面百圓に付九十八圓

○朝郵の貨物運賃引上

穀類を除く十二月一日より

朝鮮郵船會社にては近海石炭食料品の暴騰甚しく昨今の支出は戰前に三倍するの狀況にあり船員の手當その他も約三倍となり居れるを以て遞信當局の運賃に比し低率なるを以て過般來遞信當局に對し貨物運賃の引上げ許可を申請中なりしが近く當局より朝鮮沿岸航路の運賃中穀類を除く一般貨物の運賃は既に認可せられ居る關係上朝鮮內に於て現行約三割の引上げを承認したるを以て同社にてはその實行に付各種の準備を重ね地方店長の會議開き主として右の値上を議題とし尚ほ實行は十二月一日よりなるべく內鮮間並に沿岸にても穀類の運賃は据え置く由なり

○經濟概況

九月末の穀物價格の發表に次いで朝鮮に於ては釜山京城仁川其他主要地に穀物調節會組織せられ移出の調節を計ることゝなり各地設立相俟て十月初め以來米價

▲兎角軟弱を示し

漸く下向に及び暴風雨、內閣更迭等より內地米相場の影響を受け氣配一變するに至りしが月の大半に亘り鐵道特別輸送の爲め荷動き杜絕の狀態なりしのみならず時恰も端境期に屬し新米の出廻りも未だ捗々しからず勞米國取引沈靜を免れざりき其他大豆は兩々新物の出廻りあるも相場依然不味にして商況振はず關係出盛期を經過したる等移出貿易額も鐵の大移出に依り前月に比し漸く五十三萬圓を增加せるに過ぎず次に輸移入綿布は愈需要期に切迫せる折柄三品市場は輸出の旺盛と米棉騰貴の

▲強材料に商況

頗る強硬なるものあり一方朝鮮に於ては鐵道特別輸送の爲め需給の途絕に異常の騰貴を惹起したる等相俟ちて商況活躍し其の他諸雜貨も賣行良好にして輸移入方面に於ては昔金の移稍見るべきものありしも大宗たる米穀資金の需要不振にして貸出金は同收勝の狀態なり又金融市場も夏枯期を通じて繁忙を續けたる金融市場も本月に入り頓に閑散となり本月末の各種銀行民間預金は前月末に比し總額に於て僅少の減退を見たるも當座預金の如きは九十萬圓の增加を示し

▲民間貸出金は

二百萬圓の減退を示せり然るに朝鮮銀行發行高は月末八千二十九萬圓に上り前月に比し三百二十四萬圓の膨脹にして叙上金融の趨勢に逆行せる觀あるも右は西伯利出兵に伴ふ軍票引換其の他特殊の事由に基づき滿洲に於ける發行高の增加に原因するものとす

○滿蒙毛織募株

資本一千萬圓を以て東拓滿鐵並に內地有力、紫家發起の下に計畫されたる滿蒙毛織株式會社は總株式二十萬株中左の如く引受け確定したる結果十四日より殘りの一萬五千株を內鮮滿に於て公募に附すべく朝鮮にては朝鮮銀行本支店にてその申込みを受くべし

四萬株東拓 一萬株滿鐵 一萬株支那側 一萬株在滿邦人 八萬五千株發起人及び贊成人持株 以上合計十八萬五千株

尚ほ毛織物の國內自給は國家の要求を感じつゝあり又事業の性質として毛織株は全く不知株に有利なる[illegible]して人氣を蒐め居れる如し更に滿蒙の羊毛は濠洲產の如く纖維[illegible]るには若干の[illegible]は頗る丈夫に耐久力[illegible]毛織原料として將來十分の見込みある由

○東拓平壤企業

東洋拓殖會社にては平年來平壤に於てモンド瓦斯を經營すべく諸般の調査を重ねつゝある事は既報の如きが講和來近き模樣なると平壤事業界の現狀はその着手を急がしめ[illegible]の計畫も略ぼ捗せしを以て目下東拓の川上理事は[illegible]關係用務の處理に盡力しつゝありとも云はれその歸來後具體的の計畫を觀るべしとの事なるが一方京城支店の米山務課長は最近平壤に出張モンド瓦斯企業に對する諸種の用務を辨じて歸來し勞同社の事業は遠からず進捗を見るべしと思はるゝが該事業は東拓の直營とはなさず東拓はその株式の大部を引受け娘會社の組織を行ふべく事業地は平壤附近の船橋里に選みその發電は動力として各事業會社並に工場に供給すべしと

○除隊兵輸送

十一月十三日より滿鐵京城管理局にては朝鮮軍除隊兵釜山までの輸送を開始したるが

▲十三日 の龍山發は騎兵第二十七聯隊第三中隊の將校一名下士卒三十六名並に野砲兵第二十五聯隊第六中隊の將校一名下士卒三十六名なり

▲十四日 龍山發は步兵第七十九聯隊の將校二名下士卒七百八十八名並に大邱發は步兵第八十聯隊の第一第二大隊の將校二名下士卒五百二十五名大田發は同聯隊の下士卒二百六十九名新義州並に新安州發（平壤經）步兵第七十七聯隊の第四五十一十二各中隊下士卒二百七十名なり

▲十五日 は龍山步兵第七十八聯隊の將校二名下士卒七百六十四名

▲十六日 は平壤步兵第七十七聯隊の將校二名下士卒八百二十五名尚ほ羅南方面の駐屯兵は清津より御用船にて送還すべく入營兵は十一月二十八日より十二月五日までにその輸送をなす事となり居れり

○京管事務規程

滿鐵京城管理局にては十一日付を以て計理事務規程を發表せしが該規程に依れば京城管理局の課館は課長、所長に於て其主管に屬する豫算を更に分ち十月十五日までに局長の手許に提出し更にその査閱を經て經理課長は十一月十五日迄に理事長の手許に提出の手續をなす事と成居れり

○統計講習會終了

十二日を以て講習科目の全部を終了したる總督府主催統計講習會は十三日午前十時より講習科目に對する試驗を施行し次いで山縣總監臨席別項の如き訓示を爲し終つて兒島總務局長講評を述べ次いで講習生總代答辭を述べ之れにて式を終り正午講習生並に關係各職員は京城ホテルに於る山縣總監の招待に臨み一同饗應を受け午後一時より農業生產統計並に國勢調査に關する打合せを爲し散會せり

政務總監訓示

統計は百般の施設及計畫に最要の根據を與ふるのみならず亦學術研究の基本たるべきものにして之が價値の存する所は主として其の材料の精確と調査の統一とに在り又大正九年十月一日を期して施行すべき國勢調査は豫め諸般の準備を整へ全道一齊に戶口職業及教育程度等の重要事項に關する調査を舉行し以て[illegible]する所の[illegible]を供與して此の調査を完成するには[illegible]統計主任其の他統計に關係ある職員を召集して本講習會を開催し講習をなさしめ[illegible]今日に至る有益なる講習を終了したるは本官の欣幸とする處なり

諸子は本講習會に於て習得したる所を實地に應用し且常に之が研鑽に努め以て地方統計の改善を圖らざるべからず凡そ統計の資料は一に地方下級官公吏員の調査に俟つもの多きが故に之を指導誘掖するは實に諸子の努力に俟つものなり而して國勢調査は我國最初の事業にして山間僻陬に至る迄悉く其の本旨を熟知せしむるに非ざれば效果を全うし難きを以て本旨趣を徹底せしむるを要す諸子克く此の意を體し深く職責の重大なるを自覺すると共に統計上の智識を活用して本講習の目的に副はむことを期すへし

○林務主任會議

林務主任會同第三日は十三日午前九時より總督府第一會議室に於て小原殖產局長主宰の下に開會午前中は[illegible]注意事項に關し小原局長の說明あり四時散會せり

○體操講習會

九大醫科大學教授醫學博士櫻井恒太郎氏は來る十七日入京十八日より六日間南大門小學校に於て各官公立學校並に學校教員の爲め一般體操の講習及び氏の考案に係る紳士體操の講習を爲すべきが終了後二十五日より三日間平壤に於て三十日より三日間釜山に於て同樣講習を爲すべし

○殖銀會議終了

殖銀の支店長會議は十三日午後を以て大體終了せり

○朝郵の打合會

朝郵會社にては釜山支店長元山出張所長、木浦、仁川各出張員を本店に召集し打合せ會を開きつゝありしが十三日終了せり

○鐵道倉庫開業

十一月十三日より京義線汶山驛に於て一般倉庫の營業を開始する事となりたり

○京城手形交換

京城手形交換所十月中の京城手形交換狀況を聞くに交換高は金二千一萬一千六百九十五圓[illegible]國鐵預金二百二十一圓[illegible]十五萬四千三百四十圓にして之を前年同期の金八十九萬四千四百十三圓に對比する時は[illegible]七萬五千八百四十三圓を增加せり

○教員試驗合格者

總督府並に各道廳に於て施行したる小學校及び普通學校教員試驗中の第一、二、三各種を通じて合格したる十四人に對し來る二十九日より實地試驗を行ふべき旨各關係官廳並に合格者に夫々通牒を發したるが右通知を受けたる合格者は嚢に受驗したる地の各道廳に又總督府に於て受驗したる者は總督府學務課に二十日午後三時までに出頭し受驗に關する詳細を承合すること

○中田武官歸東

入京中なりし中田侍從武官一行は十三日朝南大門發にて歸東せり

○支那武官通過

支那觀戰武官一行中財政部秘書周家彥氏外一名は十二日午後七時廿五分北京より京城通過目的地に向ひたり

○關屋局長出張

關屋學務局長は十二日附十四日間の豫定にて慶北、忠南、全北の各道に於ける公立學校長會議臨席並に學事視察の爲め出張を命ぜらる

○佐々木長官容態

慶南道長官佐々木藤太郎氏は此程來病氣にて療養中なるが容態輕からず

○米技師鑛業視察

米國鑛務者より朝鮮鑛業の視察を命ぜられ來鮮中の技師モルガンクレメンツ氏は過般三井鑛山の金剛山鑛を視察し更に九日より晉陽忠州方面の重石鑛視察に赴き居れるが兩三日中歸京の上平壤鑛二浦を經て遂安並に雲山兩金鑛の視察をなす

○副總裁張宴

鶴見副總裁は十二日夜花月に在京城新聞通信の主なる人々を招待せしが開宴に際し副總裁の挨拶、萩谷京城新聞社長の謝辭あり主客歡談の後十一時頃散會せしが銀行より片山理事、吉田橫山兩局長、飯島雄、井上、不破、高久の諸氏出席したり

○郡參事任命

缺員中の平安北道熙川郡參事は十月二十日附を以て[illegible]九氏任命されたり

○訂正

前號第二面所載京城[illegible]「五更錦帶」は「大手滾々」の誤

人事消息

▲[illegible]二郎氏（總督府營繕課技師）十四日總督府立京城[illegible]學校を視察の爲[illegible]

▲二階堂統計官 十二日[illegible]の豫定にて平壤へ出張を命ぜらる

▲[illegible]太郎氏、土木局釜山出張所長 十二日附六日間の豫定にて[illegible]郡へ出張を命ぜらる

▲[illegible]（忠北道長官） 十二日附十三日より往復四日間の豫定にて大邱へ出張を命ぜらる

▲山中山林課長 十二日附往復二十二日間の豫定にて京畿忠北江原の各道管内に於ける森林狀況視察の爲め出張を命ぜらる

▲宗像十郎氏（八幡製鐵所[illegible]）

▲長崎榮十郎氏（同販賣主任） 同上

▲[illegible]城津[illegible]店長 十三日朝入京山本へ

▲[illegible]氏 北滿西伯利へ於ける運輸狀況視察の爲め十三日朝南大門驛發列車にて出發

酒前茶後

◆伯林は赤衞軍の手中に歸し、ホーヘンツォルレン家は倒る。獨逸革命が、北露西亞の如き性質のものたるか、將た又佛國西革命の如きかは、未だ知るを得ざるも、其何れにするも、獨逸聯邦に根本的の搖の現はれ來らんとするが如し。休戰に對する獨逸國民の狂喜と、危懼に瀕する聯合國民の沈痛とは、前者と對照也。戰爭獨軍破竹の勢ひを以て、東西戰線を席捲せし際に於ける、兩國民の喜憂を、今日は全く顚倒せり、又快ならずとせず。

◆獨帝の退位は、獨帝の墜、罪也。然の北晴、非の日は來れり。今回の退位は、宰相マックスが宣言せる如く、傳へらる、既に驅ひを要せざるべし。世界擾亂のキーを握りたる、カイゼル、ウイルヘルム二世は、遂に世界の舞臺より退きぬ。又奈翁の末路に似たらずや。

◆彼齡六十歲、千八百五十九年フリードリッヒ三世と、英國ヴイクトリア女皇の長女との間に生れ父帝の在位僅に九十九日なりしに及し、ウイルヘルム二世は、今日に及んで在位實に三十年、其威は獨逸國民をして、神と崇敬させ、勢ひを得たる北野心は、遂に今回の大戰を惹起せしめ、自ら好んで世界民衆の怨府となり、遂に倒る。惜しい男子一代の活動としては、快事たらずとせず、彼も亦英雄也。

本紙定價 壹ヶ月金七拾五錢 參ヶ月前金貳圓廿錢 六ヶ月同四圓拾錢 壹ヶ年同八圓廿錢
廣告料金 五號活字一行一圓五拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 奧田道之介 印刷人 小川?之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible]

◇十一月十四日◇
共進會記念デー
◇景品壹萬五千點◇
大邱協贊會

機
今日只今
求めらるよ
御約定と御挨拶は最寄の社又は直に大阪の本社へ申込まれよ
大阪市北區
福林商會信託部
振替大阪一八四二 電話本局一二二二三 [illegible]

株式 致富會第四回會員募集
會を提ふるは 成功富致の第一步也
講和來の聲は邦國株界に未曾有の大激變を起さしめんとし時漸く年末に際して上下一大波瀾を招かんこと火を睹るよりも明らかなり諸君は今やこの絕好の機會を提へざる可らず

北海道材は洋家具材
本明雜木店
京城黃金町一丁目 電話三一七五番
（椅子卓子調製に應じ申候）

[illegible]
▲CBA 編上靴 [illegible]
一枚革 深ゴム靴 編上靴
[illegible]

北海松薄板
上。中。品位ノモノヲ撰別セサル儘結東シアル故使用上特殊ノ利益アリ
右新荷薄利商談
材木商
熊野商會
京城古市町 長電話一八一番

ストーブ新荷著
和洋ストーブ 附屬品一式
煙突製作
板硝子
ペイント塗料
京城本町二丁目
岩見商店
電話貳一參番

八角鋼、黑鉛用金網、眞鍮物製作
ストーブ各種建築金物
△地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
商報御入用の節は御一報被下候はゞ直に御送附可申上候
京城本町一丁目
直輸入商 佐野彥藏商店
電話一六三番、振替京城二〇番

大正七年七月一日改正現行 [illegible]

◇可憐べきホ家の人々 （中央）獨帝カイゼル（右上）皇后（下）皇太孫（左上）皇太子（下）皇太子妃

ホーヘン家

梟雄を出して世界の怨を買ひ遂に廢絕の運命となれり 中歐の天地に重視せられし名家

獨逸國内の革命騒動の結果として到る所に共和政府の組織せられつゝあり、社會黨がホーヘンツォルレン家の廢絶を要求せりと傳へ、又桑港市報は獨帝の正式退位を、郵便報知は獨帝が和蘭ユトレヒトに蒙塵せりとさへ報じた。で號外報を分析して推論するもホーヘンツォルレン家は最早崩壊の運命に陷つて居るとは事實であらう。有史以來の大戰禍を捲き起して未曾有の苦しみに陥れ世界を驚倒して居た獨逸も、力盡き内憂外患交々至つて遂に自國自軍の悲運を見るに至り國民の怨府となつたホーヘンツォルレン家が先づ革命の犠牲に擧げられたのである、全歐を動搖せしめた普魯西の名家ホーヘンツォルレン家の悲慘なる末路、それは或意味に於て露西亞皇室の覆滅よりも悲慘であるそれは獨帝は世界の平和を擾亂した禍根として世界の人間から一齊に

▽……怨まれて居るのだから……。ホーヘンツォルレン家は千六百年時代にはブランデンブルグ王國を統べて居た名家である。千七百一年普魯西王國と改稱し、フレデリック大王の如き英主出で、東北地方に勢力を張り諸地方の覇權を掌握した。フリードリヒ、ウイルヘルム三世時代には佛國に向つて挑戰しナポレオン大帝の爲めに擊破され普魯西の大半が佛軍の馬蹄に蹂躙され僅に皇后ルイズの美貌を以てナポレオンを籠絡し

▽……普魯西の面目を維持するとが出來た。以來普魯西國民は佛國より受けた屈辱に痛憤し臥薪嘗膽ウイルヘルム一世時代に至り鐵血宰相ビスマルク出で軍政改革、外交刷新を圖り墺太利を獨逸聯邦より退け千八百六十七年に北獨逸聯邦の盟主となり千八百七十年には佛國に戰捷して多年の屈辱を雪いだ。斯くて

▽……獨逸の覇を掌握して二十六國より成る獨逸聯邦を組織した。ウイルヘルム一世の崩御後現皇帝ウイルヘルム二世即位してビスマルクと意見の衝突によりビ公を斥けヒンデンブルグ、ルーデンドルフ元帥等の軍閥派に誤られて今次の大戰を捲き起し今や獨帝は退位しホーヘンツォルレン家は沒落し獨逸帝國は政治的色彩を塗更へられんとしつゝある斯て中歐の天地に雄視せられしホーヘンツォルレン家の如何なる運命に導かれて行くであらう……

◎獨逸の暴動は思想から……從來の食糧問題からではない

◇カイゼルの誓手◇

獨逸國内に蜂起したる革命的暴動に關して陸軍某少將は語る

◇今回の暴動は從來のと全然其の趣きを異にし、此點に於て最も重大視されて居るのである即ち從來の暴動は單に食糧品の缺乏に原き、其れを得んが爲めの暴動であつた、さればカイゼルも專ら其の方面に意を注ぎ不足せる

◇物資は出來得る限り萬遍なく分配して其の不平を抑へてゐた、此の點に於ては聯合國側に比して獨逸は一籌を輸したのである然ればこそ獨逸では今日まで比較的其の暴動を抑壓して來る事が出來たのである、然るに今回の暴動は全然其の趣きを異にし專ら

◇思想問題の上に立脚して居る、即ち大露國を今日の末路に導きし過激思想を懐いた者が今回の獨逸の敗亡を見て憤激の餘り勃發したのである、カイゼルは

◇過激思想の獨逸に入らうとするのを防いでゐるくらゐであつた

◎餘りに自惚て 我意を通した人

◇何でも御座れ俺が一番偉いと思つてゐた◇

カイゼルは千八百五十九年一月二十七日の生れで今年は數へ年の五十九歲である、少年時代は身體弱く偶に國民の同情の的であつたが、ボン大學を卒業した頃から段々天性の英氣を振ひ千八百八十八年獨逸皇帝の位を踐むに及んでビスマルクを退けて

▲獨裁的權力を振ひ獨逸陸軍を擴張すると同時に海軍の創始に全力を盡し、千八百九十五年千八百九十九年の議會に海軍大擴張案を提出して獨逸海軍の基礎を築いた、尚日清日露戰役後盛んに黄禍説を唱へたのが彼である事は周く世人の知る處だが即位廿五年祝典を擧げた頃は得意の絶頂にあり二言目には『予が〳〵』と云つて我意を通し『獨逸國民には唯一つの意志がある、其意志は即ち予の意志である』と云ひ軍隊に對しては『元帥の命令に對しては理由を問ふ勿れ、何事も皆從が第一である』と命じ『若し元帥が汝の父母を殺せと命じたら直に父母を殺せ』と脫線した事もあると云はれ大戰勃發は今こそ英雄時代だと自惚れて『巴里は二週間で陷れ伊太利は甕中の鼠』と豪語した、口も八丁手も八丁だが夫丈

▽多藝で輕率で移り氣の多い人物、政治、軍事は素より美術でも何でも自分が一番偉いと考へてゐた、又カイゼルは非常な旅行好きでライゼ・カイゼル（旅行帝）の綽名がある程だ、又カイゼルは誕生の時怪我してその爲

▲左腕の自由が利かぬに拘らず運動好きで射擊も巧み馬乘りも上手である又殊の外衣裳道樂で常に三百着からの衣服を自分の側に備へつけて置かねば承知しない、そして行く先によつて其地方の聯隊の軍服を着用する騎馬服丈けでも十四種からあるといふ

模範の獨逸婦人

◇七人の母◇

▽皇后ルイゼは模範的の獨逸婦人で露國革命からロマノフ王朝の沒落を見て心配の餘り神經衰弱に罹つてゐると傳へられる、ホルスタイン公の長女で年はカイゼルより三ヶ月姉である、政略結婚であつたがその間に六男一女がある皇太子のフリードリヒ、ウイルヘルムが三十六歲、次のアイテルは三十五歲、次はアダルベルトで三十四歲、次はアウダストで三十一歲、次はオスカールで三十歲、次はヨアヒムで二十九歲、末は女子でビクトリヤ、ルイゼと云つて二十七歲であるその家庭は頗る圓滿である

◎獨逸革命の根柢 ―は深いでせう― バーグホルツ氏談

京城駐在新任米國總領事を訪ねて……

◇新任米國總領事バーグホルツ氏

◇……獨逸の運命もモウ定つた

十二日夜着任せる新任京城駐在米國總領事バーグホルツ氏を風冷たき十三日の朝貞洞の領事館に訪ふ領事は戰前獨逸駐在領事で非常な獨逸通である氏は『今到着した許りで何も未だ手に付きません』と云ひながらも如才なく記者に椅子を勸めて靜々語る『何うです

◆獨逸もいよく參つた樣ですナ今朝京城の吾々倶樂部へ本國から來た電報を見ると獨逸皇帝は逃々逃げ出して姿を隠したとあつた斯うなると今迄憎くつて堪らなかつた皇帝の末路も何だか憐を感ぜずには居られない獨逸の今回の

◆革命が如何に根柢が深いかは其主領が獨逸陸軍に於て最も勢力を持つたヒンデンブルグである事によつても想像し得らるゝ譯ですナ尚ほ此ヒンデンブルグの夫人は獨逸でも優勢の地位にある人で貴族院にも非常に信望があると共に今回の革命の手が何の邊迄延びて居るか一寸想像が着き兼ねるそれに廿一の

◆聯邦が擧つて之れに加盟して居ると云ふ事であるから獨逸の運命もモウ定まつたと云つていゝでせう休戰調印が愈實現されたと、ソンナことは未だ私は聞いて居ない、而しソレは事實でせう、獨逸現在の狀態から見てもモウ此上戰ふ迄もない事です』話はこれでフッツリ切れて終つたので領事は庭に出て本社のカメラに納まつた

◇獨逸南北分裂か

獨帝の退位と共に普魯西失墜せん 帝位は何處＝巴威王家勢力を得ん

某消息通は語る外電所報の如く最近獨逸國内には革命的思想が瀰漫し上に横溢し伯林を始めブランデンブルグやドレスデン、キール其の他重要都市には革命的動亂が勃發する一方巴威は分裂して

▲單獨講和を結ばんとかは巴威王にありと巴威首相の運動が乃至は皇帝退位後帝位を得べき權利があつたりして獨逸の瓦解的機危は漸次切迫して來た爲め周圍の事情上遂にカイゼルの退位の厄運となつたものであるが併し又一面から見ると從來獨逸に我意を張つた普魯西の勢力が失墜し引いてはホーヘンツォルレン家の末路が到來したと見ることも出來る、で退位愈確實となつた上に新に帝位に就くべきは勢力の上から云つても格式の上から云つても先づ巴威王家でなくてはなるまいかと想像されるが是れが機會となつて獨逸は

▲南北に分離することなきやとも觀測される巴威其他普魯西に好からぬものは更に結束して南方に起ち普魯西は北に辛く其勢力を維持することとなりはせぬか大いに注目を要する次第である

◎肺ヂストマの中間宿主 『ザリガニ』の研究

蟹と蝦との間の子のやうな形態 黄海道谷山郡のは大きい 濟州嶋にも居るか何うか 小林理學博士談

總督府醫院嘱託小林理學士は既報の如く黄海道谷山にて新たに發見されたる『大型ザリガニ』研究の爲め出張中のところこの程歸任したるが博士は語つて曰く『ザリガニ』と云ふのは一見

△蟹と蝦の混血子のやうなもので何方かと云ふと蝦に近いけれど蟹のやうな鋏を有つて居る爲め『ザリガニ』など云ふ名がついたのであらうこの『ザリガニ』は肺ヂストマの中間宿主として知られて居る種類で

△種類の多いものでその分布區域は南北半球に跨り亞細亞、歐洲、亞米利加、濠洲など殆ど世界各國に棲息して居るが何故か赤道地方では見當らぬ相なそれに面白いのは米國ロッキー山脈の東部に居るものは歐洲産のものと略似て居りその

△間に介在して居るもの即ちロッキー西部の『ザリガニ』と亞細亞東部の『ザリガニ』とが又似て居ることだ亞細亞では我內地を始め朝鮮の各河川を始め西伯利の黑龍江、豆滿江には多數に棲息して居るが大體に於て私の研究の範圍に屬する亞細亞産のものは歐洲產の夫に比して形が小さいやうである歐洲では

△是を食用に供する所もあり大々的に蕃殖して居るところも有る相で普通のものでも長さが六寸から七寸はあると云ふ事だが私の見た亞細亞產のものでは二寸六七分、最も大きく大凡上のものは見た事がなかつた今度漸く谷山の雲中川で三寸ばかりのものを發見したが今迄のところでは是が先づ一番大きいものであらう雲中川には四寸位の奴が幾干も居るらうと思ふ

△內地では青森縣以北と云ふ事だが季節が悪かつた故か私が行つた時には折悪く見付からなかつた研究の結果によると多く其以南には棲息して居らぬと云ふ事になつて居るが朝鮮には南端にも居る相であるが事によれば慶北の鬱陵島、全南の珍島などにもヒヨットしたら棲息て居るかも知れぬが若し濟州島に居るとすればヒヨットしたら又對馬邊にも居はすまいか鮮人は此の『ザリガニ』を食ふと謂ふジストマとの關係もあるので是非其

△分布狀態等を調査して見度いと思つて居るが是は單に醫學上の問題としてのみならず動物學上の問題としても却々面白からうと思ふ

◎獨逸が弱つて景氣を持す 浦鹽港

十一日入港のペンザ號の齎せる最近の情報によれば……

□浦鹽の降雪 浦鹽港は七日始めて降雪あり一面銀世界を演じたり

□留相場昂騰 一時七百留まで落込みたる留相場も獨逸の窮状切迫し講和來の聲高くなるに連れて忽ち持直し今や現物賣り百三十留を唱へ益々上向の傾向なり

□通貨の缺乏 全露政府は通貨の缺乏に鑑み施政の手始めとして通貨一億留を發行すべき目的を以て第一回分として五千萬留を發行せんとすと（敦賀）

□公設の賣店 西伯利の物資缺乏に乘じて暴利を貪らんとする奸商輩出するよりセミョノフ政府は今回チタ市に於て六箇所の公設賣店を開設し廉價を以て日用品を販賣することとなれり上等小麥粉一封度十七五留にて販賣せるをセミョノフ軍は之れを二十七留にて廉賣せんとするが如きも其の一例なりと

◎林中に…… 美人の白骨

行方不明となつて廿日目に發見

長崎縣松島炭坑の怪事 長崎縣彼杵郡松島炭坑電話交換手同村字釜の浦江淵にわこ（九）は去月二十日出勤の儘行方不明となり家人は八方に大捜査をなせしに八日朝に至り消防組の某が村下嶽の山林内小溝の中に埋葬されあるわの死體を發見せるが既に腐爛して殆んど白骨と化し居れり多分惡漢に辱められ其末殺害されしものならんかとの見込を立て其の筋にては大活動を開始せりにわは頗る美人にて温良なる女なり尚現場は其以前も某吏員の妻が危く難を遁れし物騷の地なり（長崎電報）

◎漁船遭難

全南濟州島大靜面古內里千百三十一番地船乘業高希奉（三三）は十月一日長崎縣深堀に於て漁船一隻を三十六圓にて買入れ翌二日長崎より濟州島に向け航行中途中に風浪を受け海上に漂流中支那戎克に助けられ十月十四日上海に上陸し同所より大連に送還せられ大連民政署に於て金七圓を與へられ十一月九日仁川に便船にて無事上陸せり

◎金庫を盜む 元山の大賊

五日夜元山本町二丁目雜貨商龍井兵衛氏方に忍び入り店頭に据付けありたる十六貫餘の金庫を背負うて盜み出したる大賊あり該金庫は元山城洞町道線路下の空地に運び鐵鎚を以て錠前を破壞し在中の現金百二十餘圓及び銀行通帳、借用證書等を盜取したるまゝ放棄しありたるが元山署にては目下犯人搜査中なりと

◎龍山日曜學校大會 龍山元町二丁目日本願寺にては十七日午前九時より秋期大會を開催し式後本社龍山浸光氏のお伽講話あり午後は種々餘興等ある筈にて一般父兄の來會を希望する由なり

◎地方法院雇員採用 京城地方法院にては雇員採用試驗を近々執行の筈なるが可成筆蹟優秀なる者を採用の由希望者は自筆の履歴書を添へ二十五日迄同院庶務課宛申込むべしと

◎取消 十二日夕刊所載長唄止聲會の記事は誤聞に付取消す

演藝雜記帳

◆浪花節の四日目に長講の堀川を聽いた、聽いたと迄つて聲が嗄れて來た故か、府間の樂屋がよかつた、遂山も猿廻しも歌六の絲とひつたり合つて申分が無かつたが與次郎が餘り滑稽染みはせぬかと思はれた所があつたのは遺憾だ◆與次郎の語り方には種々の型もあらうが態々滑稽化さうとするのは眞の與次郎の性格を誤るものである、しかし與次郎は大膽に於て好い、一部にさう云ふ氣分が漲れるに過ぎない◆再聽いても女義一流の廿一たい容姿を見せぬのは嬉しい、後段に至つて大分聽衆を醉はせたのは確かに偉い◆サワリもあゝいふ風に語ればお俊の氣分もよく分かる絲を離れた節廻しは眼の外はないがあれだけの聲量を有ち乍らモウ一と息と思はせるのは痒い所に手が届かぬ樣な心地がする

◎鮮朝 輕鐵顚覆す 負傷者七名

十一日午後六時廿分大邱浦項線朝鮮輕鐵が安康驛を發し浦項に向ふ途中同日午後八時頃扶助の築堤に差し懸るや俄然機關車脫線して堤下に顚覆墜落し尚ほ代用客車一輛及び客車一輛都合二輛續いて顚覆したる爲め機關手及び乘客中の七名は爲めに負傷し尚ほ他にも數名の輕傷者を出したる由、報に接したる輕鐵本社にては直ちに浦項に出張中の鈴木取締役に急報したる爲氏は醫師を隨へ直ちに現場に急行し應急手當を加へたる由なるが機關車脫線の原因等に就ては目下尚取調中に屬し詳細不明なり（大邱）

◎惡感冒で自殺

十二日午後五時頃釜山埋立大倉町郵便局前從通り樓に於て切腹せるものありとの急報に接し巡邏中の巡查及び警察が現場に駈けつけ檢視せしに自害者は小刀を以て腹部に突き立て苦悶中なりしかば應急手當を加へしも遂に絕命せり同人は慶尚北道安東郡西後面金喜用（四七）と云ふ勞働者にして惡性感冒より肺炎を併發し糊口に窮し悲觀の結果右の始末に及びたるものなりと云ふ（釜山）

◎後妻斬公判延期

既報の如く釜山西町四丁目元釜山水産會社雇たりし樋口芳三の妻ヂエは嫉妬の餘り後妻に斬り付け重傷を負はしめたる殺人事件は十二日釜山地方法院にて公判を開廷の筈なりしが被告の辯護人佐々木清綱氏より延期を申請せしにより來る十六日開廷さる事に延期せられたり（釜山）

◎感冒と流言

◇愚劣なる鮮人間の臆說◇

……の如く歐洲西部戰線に於ける多數の戰死者の屍體より放出する一種の毒氣による感冒流行せしこそあり本年は恰も戊午の歲に相當せるを以て干支……

……以て省令……內に於ける商工業一切現況を調査し明瞭なる表を作り以て農商本部……

（四）工廠工人の人數
（五）商界信用の程度

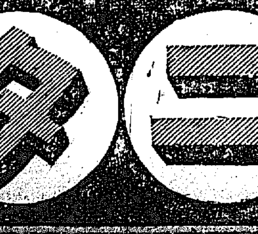
……調査は全部纏まり次第中央農商部に轉送すべき筈なり

◎連絡船上陸客 十三日……大塚常吉、山內大吉、竹中捷次郎、井上良卜、永谷直吉、川中金兵衛、同しげ、大屋甚太郎、吉武作吉、中部こめ、作屋正太郎、加藤勝久、山川きくみ、八木さえ……（二等）二名……（三等）……一名 江口十郎、二等（十三名）石野秀夫、藤本吉次郎、德光……、……田八之助、石田徹、吉田信三、……龍次郎、奧村竹三郎、岡たつ……

天氣 曇 （十三日午後六時より十四日午後六時迄）

▲十一月十四日 ……

米國製捕獸器

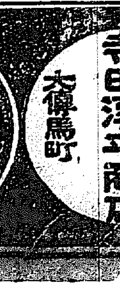


毛皮高價買入可申候 横濱市住吉町二丁目（公園前） 吉川米次郎商店

●けものとるきかい● 新荷着

信 老人未知 此間解決 急轉居所 新

金牌受領



本椿香油 本椿ホマード 宮內省御内儀初め九條公爵、其他華族方御常用之榮を蒙る 毛を黑く長くつやを出し赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙 本舖 大阪西横堀 三宅堂

如何なる病悪癖も目分で癒せる秘傳書

哲理治療の秘訣

高尚慈善 新職業

求職 男女

大邱府大邱町二丁目十七番地 朝鮮分館 大福音

強くて温い 日本一の オニタビ 東京市大傳馬町 寺田淳平商店 平

……一流の勝利に於ては紛々として專ら……居れることは既報の如くなるが今更に奇抜なるもの二三を列擧すれば次……瓦斯より出でたる……一面に於て古老の語る處に據れば六十年前の戊午の歳に於て猛烈な……

○東省商工業調査

中央農商部より調査員を派遣し近……目的を以て各該省に轉令し省……現狀の如何を知るを得ず斯くては施政上不便……今回左記……を整頓すべ……

（一）工廠商舗の家數
（二）工業何種が最も發達せるか
（三）各種商家の比較

右各項に就き明確なる調査書を作し一律省公署に提出すべし既に張省長は工商各縣關に轉令せり之

……十二日午後入港對馬丸 一二三……客

★新羅古蹟―雁鴨の池（記事參照）

大邱見物　一貫生

大邱の街は一體に落ちつきがあると云つて路傍の例の大提灯がころげたから感心した譯ではない、道々舍は遺憾乍ら感服仕られぬ其に對して警務部は堂々たる古建築の朝鮮何やら衙門の遺物、府廳の庭園は見事だが、建築も先づ用體、郵便局は流石文明の急先鋒丈あつて立派だ、殖産銀行の金看板が新しからねばならぬに古く見ゆるは、華やかならぬ營業振を示したものか、慶應館と慈惠病院は市中の屈指、殊に慈惠病院に於ては之が全鮮唯一のものだと聞かされたが、まさか嘘言でもないらしい。山羊髭を風に吹かせた白衣の君子が、其處此處で右側通行とお叱言を食つて居る、最うボツ〳〵火がつきかけた、後は明日のお樂みと宿に引き揚げる、一風呂浴びて膳部が出る、二人は下戶で一人が麥酒、一人が酒黨で上戶大いに振はず、意氣消沈、蒼物がうまいと云ふ事に滿場一致でサツサと食事を終ると、天狗蕎が始まる、一燈は幽然として、時には暗く碁盤の目盛を見るを得ず、ヒユードロ〳〵にはお誂ひ向也、之も共進會の夜間御場の餘澤なりと聞いては、有難からずんばあるべからず。朝鮮民報の太田さんが來た、何うも手が行屆きませんでこの御挨拶に痛み入り、エ、抑も諸君は當大邱に揚貴妃の亡靈現はれ給ふを知るや、こは恐ろしい話へ、エ其の何ですかい玄宗皇帝が共進會に其ミイラでも出品してありますかと聞くと、何にサ〳〵晦み廻せば一笑百媚に大邱の妓娼顏色なく當府花鋪參差として是也、若し夫れ花驗紅を帶して、興に乘じ給はゞ、忽ち全屆燈火にまぶしく、霓裳羽衣の曲位は、何の朝飯前の事で、腹が減ればゴム雪駄でも食兼ぬ仙子也と聞いて一同の興を唆る。斯る大問題が目先にぶら付く以上、何條必ず躊躇すべき、幸ひ茲に四天王也、臨功の道士、鴻都の客の必要も非ねば、容を排し氣を取ち、電の如く奔るの面持もなし、天に昇り地に入つて遍く之を求めんよりは、今晩はこ女關に走け込めばよし、諸君如何と促されて早速に參同の仕度に及ぶ。オイ車だよ、何んだ五錢大急ぎ……

★晉州通信★　晉州にて　一記者

物價の高き理由

◆貸倒れと高利の資金◆　晉州の物價は他方面に比較し常に高價なるより道廳及び諸官衙は共に購入をなすに至れる結果日用品商は苦境に陷り倒産者續出する狀態にして前途寒心に堪へざる次第なるが內地人向商品は優に他地方に比較し運賃諸掛を控除するも高價なる事は事實なり其原因は多くあるも貸資の弊害と高利資金頼母子講利用の結果が最大原因なる事は明白なり尤も最近に至り貸資りの弊害を各商人が自覺せしと市街地金融組合設立に依り低利なる資金の運用の便を得るの日も近きにあるを以て行く〳〵は自然低落するならんと信ず而して近來石油、燐寸等の商品を四五の商人に於て常に買占をなし市價の吊り上げ策を講じ暴利を貪る結果不正商賣をする狀態なり故に一般木作商に出物を與へし如く其筋の手にて是等の商人にも一擊を與へられん事を一般に望み居り候

何故發展せざるか

◆漸く開發の曙光現はる◆　晉州は慶尙南道廳の所在地として有名なるも山間の僻地であつて由來開きて既に拾數年に及ぶも著しき發展をなさず漸く最近に至り電燈會社、自動車組合等の設立あり又慶南の富豪金某氏は資金拾五萬圓を以て製絲會社を企畫せし等の事あり前途幾分の曙光を認め得るに至りたるが拾ヶ年間晉州の發展せざりし最大原因は猶鐵道に遠ざかりたる僻地にて一致的の發展計畫をなさず住民は黨同異閥を事とし一致を缺きたるためにして今回漸く前記の如く新事業の計畫を見るは眞に慶賀すべき事に候

新義州（一）　新義州府廳調査

■激增せし家屋■　由來新義州の發展は遲々として振はざりしも歐洲戰亂勃發以來年々相當の活氣を添へ發展の曙光を認むるに至り殊に本年に入りては一層の活氣を呈し爲に客年に比し戶口亦增加の現況に在り然るに府內居住家屋の不足と同居し又は旅館に不便を忍ぶもの少なからず本年春以來九月末日迄に家屋建築の出願を爲したるもの非常に多く其統計を見るに內鮮支人を通じ住家二百十七戶工場二百五十一棟の多きに達し今後益々增加の趨勢を示し居れり

■旺盛なる商業■　新義州は何等の素地を有せざる江畔砂原の一市街なりと雖も一葦帶水南滿洲に接し日對岸安東縣と對峙し一面鴨綠江に流百數十里の咽喉を扼する勝地を占め前途有望の位置に在り然るに從來發展の程度甚だ遲々を極め自ら安東縣に商利を奪はるる事なきやの感を深くせしも歐洲戰亂以來一般經濟界の好調を促して新義州にも活氣を添へしめ最近著しき發展を來……

千里眼療法と流行性惡感冒

千里眼射療法を以て名ある橋宮二氏夫人の實驗によりて病の豫防を研究しつゝあり氏は今上海に客寓中なるが本病の豫防法を寄せ來りたれば掲ぐ現在の流行性感冒に對する化學的豫防法は專門家に讓り吾人は玆に素人……を信ぜらるゝ二氏愛する畏友が最近感得したる本病豫防法を告げ以て其豫防上の效力を奏する所あらば幸甚なりと……抑も本病源は昨冬季以降の氣温順調ならざると夏季以降高低雨量の不順により氣候の不順其極に達し人間自然的保護作用に著しく缺陷を與へたることに因し自然的精神活動鈍狀となり……る結果氣温高きこと必ずしも罹病せずと云ふことなく亦氣温低きこと必ずしも罹病すと斷……はざる底の殆んど豫防し能はざる惡性の熱病にして今日迄診したる罹病者の全部が頸部以下膝部以下の筋肉に病を呈し居ることは刺激……して或は胃腸を害され或はリユーマチスに類似の症狀を呈し居れる故に本病豫防上の眼目とするところは內臟外皮の筋肉の硬化を圖るにあることは論なし肉の硬化を圖ると共に本病の侵犯を免るゝこと洵に容易ならざるべからず吾人は其目的を達する爲め實に左の方法を勸誘しつゝあり

（一）入浴（每日）　全身の筋肉を活凝ならしむる爲め可及的長時間の入湯を遂行し筋肉の緊張を圖ること是は本病唯一の豫防法ならんこと信ず只長時間の入浴に依りて逆上する傾ある人は適宜……

（二）按摩　運動不足の成年に對しては筋肉運動の助長物たるは……是非を要すべし

（三）深呼吸　腹式呼吸法は血液循環を助け引いて筋肉の活動を啟提ならしむるの效あり……

（四）冷水浴（又は冷水摩擦）　此の方法も筋肉及び皮膚の抵抗力を增進するものなれども皮膚筋肉が完全に抵抗に打勝つに至る迄の修練に相當の日子を要すれば急の間に合はず以上は日常に於ける尤も簡易なる豫防手段にして尙ほ他にも……

罹病後の注意

罹病後の人を檢するに多くは胸部の不健若しくは腸の外膜等の活動鈍つて居るものあり或は胃腸等の……胃の幽門部……狀を呈するもあり前者は頭部の不快を感じ後者は食慾變兆を見り若し我慢して無理の食物を取りし爲め胃腸を害せられたるものも鮮からず須らく醫師の注意を守るべし病後を注意せざるべからず性來肺の弱き人は斷じて患者に接近すべからず何となれば此の種の人は肺炎に罹り易ければなり

……し將來亦一層の殷盛を見るべきは期して疑はざるなり　今南年貿易額は本年八月迄の貿易額を見るに前年累計輸移入二百六十五萬二千……圓移出五百七十……[illegible]……あるの狀態なり

★筏通信★　未曾有の流筏數

鴨綠江採木公司に就て聞く處によれば去る十日迄の流筏數は六千三百四十六臺にして結氷期までには尙ほ十數臺の筏を見るべく此の外南營の流筏約五百臺を加ふる時は六千八百五十臺以上にして同公司開業以來の記錄破りなり之を明治四十四年以後の統計に就て見るに大正二年は僅に千六百七十四臺、明治四十四年三千四百四十三臺、大正元年三千百三十九臺、大正四年三千百九十五臺にして大正五年に於て四千七百三十九臺、大正三年には從來の最高記錄六千二百六十六臺なるも之を本年の記錄に比する時は五百八十餘臺の減少なり殊に本年は歐洲戰亂の關係より鴨綠江材の販路は擴大せられ同時に價格も非常に昂騰したるを以て同公司の原木のみにても千二三百萬圓に達する見込みなりと

慘澹たる晉州

道長官も警務部長も罹けて流行性感冒の患れ此地も流行性感冒猖獗橫に無切をなし諸機關停止し郵便局は交換手、配達夫罹病し吏員が配達をなし警察方面は渡邊署長先づ倒れ署員半數以上感冒患者にして唯一の醫石井醫院長は折惡く脚氣病にて……慈惠醫院は外來患者殺到し往診は絕對に謝絕する狀態にして全市七百餘名の患者は一家で漸く癒し居る狀況なる內鮮人を通じ日々十數名の死亡者を生じ人心恟々たる有樣なり然るに佐々木慶南道長官も遂に感冒に罹り……故に晉州の天地は……官より拒軍に至るまで感冒患者……數を占め從つて商取引の如き閉散となり日々死後は行人稀にして寂寞たる狀態なり（晉州）

◎再三の休校

◇釜山の各學校にては◇　釜山商業學校にては十一日午後開校せしに在籍生徒二百九十九名の中百六十名の生徒半數以上の缺席により休校續行する事とせり（釜山）……れも生徒の出席數と罹病者の如何に依り授業不能なるより……可能なるに依り又復十二日より五日間休校と決定し釜山高等女學校も五日間の休校する事に決したり各小學校も休校期間の滿ちたる爲開校すれども出席生徒の數少く爲めに到底授業なし能はざるより何れも休校續行する事とせり（釜山）

慶北共進會彙報

★記念デー★　十四日擧行す

大邱に開催せられたる慶北共進會も剩す所僅になりたるが大邱協賛會にては十四日共進會記念デーを開催し當日の入場者（大人觀覽券購入者）一人毎に一枚づゝの景品券を附與し會場內樹園前庭に於て該券引替へに景品を與ふる筈なるが之が景品は時計反物等の外計一萬五千點に上り此の景品料總額六百圓を計上し且つ右景品券には一々金鑑紙しこの事なり因に東京ライオン齒磨本舖小林商店は右記念デーの擧を賛し副景品としてライオン齒磨一萬個を寄贈方申出たりとの事なり

★X光線實驗★

ネオギアテルミー應用エッキス光線の實驗は先頃日本化學製藥株式會社より技師共進會場內に於て日々之が實驗觀覽せしめ居れり

★共進會案內★（續）　慶北道書記　松浦琰哉

◈葉煙草　出品點數四百八十五點にして主として內地種の黃……

◈林産品　出品點數多からず……にて寒列なく良く陳列されたる上、眞紅色の苹果等に隣し黃色の配合は異彩を放つ　言ふ雖も森林の效用大なるを知悉せしめたる效果大なりとす

◈農産品　米三千四百點、麥二十點、麥六百點、大麥四百十點、其他の農産品は特に修飾を爲さず赤裸々に陳列しあるは農民の朴直なるを表示し一層床しき本道は農産の首にして其産額全鮮に冠たり優良品種の普及亦頗る長足の進步なり而して米の品質が優良なるは社會の等しく認むる所なり

◈副業門　本門は繩叺を以て成せるものにして之に鮮農の改良水稻の普及栽培の恩惠は利澤、綠肥栽培の餘澤は人形並に箒物を以て最も巧妙に設計せるものにして如何に低能なるものと雖も其の恩惠に依りて……

◈繩叺莚　出品點數二百廿點副業門に依り得たる知識を以て一般に注意を喚起す

◈牛皮　蜂蜜、鷄卵出品點數八十七點、牛皮は本道の移出品の主要なるものにして其の技巧の進步特に顯著なるものあり從つて刀痕の多き朝鮮牛皮も近來其の缺點を少くしたるは喜ぶべき所とす

◈綠肥　綿類出品點數四百五十點、殊に綠肥用大豆の出品數多きは朝鮮農業發達の一大表徵にして喜ぶべき現象とす

◎惡代診（釜山）

釜山共立病院にて本年一月より代診として雇はれ居る大阪生れ植野某（三十）は雇はれたる初めこそ猫を被りて忠實に働き居りたるより院長も信用し一切を委せし所折惡しく院長總本穩氏は去る八月中病氣に罹り一切同人に委せ切りになし置きしが植野はソロ〳〵地金を現はし病院の金を費消し……

◈花柳事情（釜山）

◆花代　釜山の藝妓花代は從來なしの一時間八十錢なりしが近頃の諸式高値にて引合はずと思ひ切つて送り込一本一圓に値上すべしと
◆券番　釜山にて今回遊廓內の出來したる自然藝娼妓の區別を明かにす必要生じ料理店松月、三七十、富士酒家、深雪の四軒にて抱へ藝妓の爲め券番を新設するに……

◎賭博者二組　釜山……社宅三四二富永助美（二）は同居人の神政一（三九）と共に往來で人の喧嘩をなし相手を毆打し又同社宅古河仙太郎（三）は秋山吉吾と東釜山浦里の鮮人飲食店にて喧嘩をなし器物を壞せしため何れも駐在所に引致せらる（釜山）

……理店にて盛ん……取寄せ……巧に金二百五十圓を……の好き滿洲立山へ……出し其儘大阪へは歸らず……釜山浦の各料理店は大分欽……れ居れりこの事にて目下同人の行方を搜査中なりと（釜山）

◎捨てられて秋に泣く狂女

釜山浦……駐在所の一室に年頃三十前後の內地人女が垢じみたる木綿の給を纏ひ頭髮を無造作に……シク〳〵泣きて坐り居るより……聞いて見たるに此女は山口縣大島郡生れ……といふ者なるが……三菱製鐵所の職工稻田紋造といふ者と夫婦の約束をなし居りたるが同人に未練が殘りて遂に發狂したるものなりと目下同駐在所の保護を受け居るものなりと（釜山）

◎新しい諺言

感冒に就て……の朝鮮人は例によつて……諺言を盛んに流布してゐる是は北倉甲に在る古墳の土を觸したのでこの感冒が治るとの事で附近の里民が其古墳を荒す者も彼も自分の感冒がこの事で治ると云ふので憲兵隊でも困つてゐるさうである（釜山）

◎新羅の古都　慶州案內（續）

慶北物産共進會と絕好の探勝地

◈雁鴨の池◈　巫山十二峯に擬す

是は雁鴨の池であります、昔新羅の盛時國王が群臣を集めて遊宴を催した所で、慶州府の南面新基里にあります。是は支那の巫山十二峯を象つて造つたもので當時は絕々の珍らしい花を植ゑたり或は珍らしい禽を飼つたりして定めし美事な庭であつたでせうが今は御覽の通り當年榮華の跡を空しく枯木寒岩に殘して壞蟬徒らに深く

◈半月城外の斜陽　敗殘の面影◈

を止めて居ります、半月城址の碑は追つて御覽に入れますが、半月城即ち月城は新羅王宮のあつた所で婆娑王二十二年と云ふから今より凡そ千八百四十年前、我朝では日本武尊の薨後間もなく出來上つた城であります。彼の傳說と

◈有名な瓢箪に乘て我國から渡た◈

瓠公といふ新羅の宰相の邸址も此城趾の中に殘つて居ります、一體新羅の建國史に就ては何分朝鮮在來の歷史が悉く官吏の手に依て記されたもので偶『三國遺事』の如き野史があつても取材が穢めて不完全で而も似たり寄つたりのものであるから毫も信憑するに足りませんので

◈銘々勝手な◈

今日學者間に於て新羅史が出來てゐますが、いくら經つても世人をして首肯せしむるに足るべき正史の現はれぬことは甚だ學界の爲め遺憾なる次第であります。併し乍ら大體に於て新羅といふ國は今の慶尙道の一部にあつた辰韓六村の跡でアノ邊が發祥の地だらうと謂はれて居ります……それから此の瓠公のみならず始祖の赫居世も共に日本人であるこの說もありますが問題外に渉るから玆には省くとして……べた奉德寺の釣鐘が出來上つた時の王即ち三十六世惠恭王の頃から次第に女弱に流れ五十六世敬順王で九年で國を後高麗のために亡ぼされ千年の王業が遂に亡滅したのであります

◈慶州の城跡は◈

慶州の城跡は半月城の外に金城（不明）滿月城（月城の北一里）明活城（東一里十丁）南山城（府南一里十丁）關門城（同東六里）富山城（同西四里）等

◈つまらない禿山◈

あるが是等は何れも昔單に城があつたと云ふのみですから素人方には別に何等の興味もひかず唯だ二里の違ひ所へ行かなくても態々一つの……を見れば夫で澤山で未だ近所に澤山見る所があるから御案內申せう……次は雞林……（特派記者）

◈演藝案內◈

本町五丁目　文樂座　活劇　壽　全九場

大正館　喜劇「黑百合」　探偵活劇　◎舊劇「隅田川大仇討」

本町三丁目　壽座　新派悲劇「二人娘」全三卷

大阪歌舞伎大一座

有樂館　◎海洋大活劇「夜半の叫」　◎「くらがり峠」　◎「黑鷺」　◎大活劇「寢臺車の秘密」　地圖の蔭　長尺

明治町二丁目　浪花館　大阪一流女義太夫竹本長廣大一座

黃金館　左甚五郎　大秘密　花時雨

蒸ずし茶碗むし　かくや魚ちり　すき燒外種々　夫婦すし　京城南山町二丁目

謹啓時下寒氣の候各位御清祥之段奉賀上候例年の通り本月十五日より左記品を賣出し仕候間相變らず御用命被下度奉希上候

古着卸出品　伊豫松山市本町壱　小倉長太郎

たんせきぜんそく　不思議にとれる！　咳嗽喘息の藥は種々あるが本統に効く藥は稀である。他藥を服んでも効なき人は是非本舖の立効丸を試されよ、キット不思議な速効が顯れます。立効丸は甜藥としてノドに……

たんせきゼンソク藥　立効丸　東京……

直接の作用あり更に之を嚥下せば內部に於て絕大の奏効あり。副作用の危險絕對に無し。……各藥店に有り……本舖　守田治兵衛藥房

キナピリン　かぜねつに一番よくきく　感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり　價　十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓　本舖　大阪市堂島元紙橋　高橋盛大堂藥房　到る處の藥店に販賣す

質　田村質店　商品擔保便利取扱

りん病　ばいどく

ルーデサック　京城永樂町二丁目交番北　東京ドラッグ商會京城本部

素人の自家用として理髮研究會長の發明になる最新式　新案特許　大正式バリカン　日本發明製作所　東京市本鄉區湯島六丁目十五番地

新機一反限り　高貴織　十八金色指環進呈

防寒帽子著荷　京城日報代理部

漬物問屋　大阪市南區新戎橋筋電車通　森內商店

天下一品　白鶴　增本酒店

豫報　晴時々……

商況

東京株式正電
十二日後場 先限引値

東株	一八五、一〇
同新	一五三、九〇
[illegible]	一九六、四〇
[illegible]	二三六、四

東京現株中値
十二日

朝鮮銀行	二五五、〇〇
同新	一七一、〇〇
南滿鐵道	二二四、〇〇
同新	九八、〇〇
第一新株	五八、五〇
第二新株	二三三、〇〇
南滿製糖	二三三、〇〇
朝鮮製糖	二二、〇〇
滿洲製粉	八一、〇〇
京城電氣	五八、〇〇
朝鮮瓦斯	二三、五〇

東京期米特電

大阪株式特電
十三日前場 三七二圓三十一錢

大阪三品特電
十二日後場 十一月限 三四一、九〇 十二月限 [illegible] 一月限 [illegible] 二月限 [illegible] 三月限 三一三、〇〇 四月限 [illegible]

宇治川水 京阪電鐵 東神紡績 合同紡績 鐘淵紡績 同上新株 東洋紡績 大阪商船 同上新株 郵船株 同上新株 堂島米穀 東京株式 大阪株式 同上新株 [illegible]

大阪期米特電
十三日前場 當限寄付 中限寄付 先限寄付 [illegible] 三三、一九

兵庫期米特電

下關期米特電
十三日前場 二値 三二、二四

雜報

●三品大反撥
米國講和實現に不安の念を懐き三品市場も愈々對獨休戰の決定を傳ふるや却つて反撥氣直りさなりしのみならず一般人氣は反つて平和後に於ける海外輸出の好況を見越し急轉して悲觀より一變樂觀と早替りせしもの如く今朝當限は三百九十圓以上に大突飛の入電ありたり

●正米小高し
は殆の出廻り依然として少なく釜山を始め沿線地方の安市に頓著なく荷主は一般強氣なり一般に保合なりし樣先期休戰定約の調印說に二回を入れ米價反撥の報は逆に一齊反撥の形勢となり今朝米價は逆に一齊反撥ぜる傾向を呈し更に強まりて朝鮮は當正米氣配に二三十錢引締せるが如し

下關相場
▲朝鮮米も漸次安し 共後玄米二千八百五十叺白米三百五十叺の輸入ありしが殆んど先約定に費消されしかば今日の出廻り多からず定期は高値時代の持越し品なるより賣物は何れも安くは投げ出さず殊に内地米の漸落歩調に連れて保合の形勢を持續し居れり

殆ど既定の數
米市場出來品の内平壌玄米極上は二十七圓九十錢にて商内閑ひ地相場に比し却つて割安の廉あり尤も沿線地方としても今朝の期米反撥の影響は免かれ難きも内地收穫減は既に見越さるる處にして當時既に水揚相場にも現はし事なれば今回の豫想發表は殆ど既定の數と云ふべし

●内地米豫想高
七十八萬三千五百四十石
實收高は前年度に二減
平年作に比し増收

●日米自先下押

●清酒値上最終
錢方引上げ
一升に付十錢

年内値上げ今回で打切
越年後の形勢如何

●銑鐵低落す

▲小豆は不引立

各地商況
▲朝鮮一等白米 四十一圓三十錢
▲同 四十一圓五十錢
▲同小豆 二十四圓四十錢
▲新川白大豆
▲元山大豆
▲京義線物資入小賣
▲京城新大豆
▲釜山新大豆

釜山物産市場 十二日
▲米保合

○大邱米況 十二日

三巴仲買店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 振替口座京城四〇二番 電話一二二番

京城正米市場
値は二十錢高

仁川正米
▲叺の入津歩々あり大阪定期の大暴騰を受けて高人氣を唱へ居れり
▲正米は定期高に連れ高人氣を唱へ居るも買物薄の折柄散歩しがちなり

生魚市場

京城日丸市場

仁川期米
十三日前場（昂騰）
六十五錢と十二錢高に寄付
先一二十六圓

大豆・米・取引 田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町二丁目 電話長五八番

▲大暴騰
大激戰を演出
大混戰
七錢より八錢と
先七圓〇

▲豫想高發表
二日發表の第二回收穫豫想は七十八萬三千四百石にて第一回より百十二石減

今仲買店
仁川米豆取引所仲買人 電話二六二番

東京期米 十二日

大阪期米 十二日

●大阪株況 十二日

市場雜觀

大阪の大暴騰

京城第二回豫想發表に依り大暴騰

仁川米豆取引所 十三日の一月限

叺縄莚 穀物及荷造用莚各種 鑛石産物用 大田本町二丁目 箕浦商店 長電話五二番

冊六番角力

毛谷村六助 六十三席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

越前手筒山の城へ柴田勝家は手勢九百を引率して眞向ひ無二無三に攻立る、射れども突けども、いつかないかな死を極めたる柴田の一隊、親討たれゝば子は其の屍骸を乗越へ、主仆るれば家來は其得物を押取り奮戰突戰一歩も去らず火水になれこ揉立る、城將玄蕃遁に是を見て物々しやさ思ひけん、三百餘人を前後に從へ城門さつこ押開き討て出でたる勢ひは宛然人間の棒火矢の如く、勇み誇りし柴田の人數へ面も振らず割て入る、何條いで堪らんや、攻撃の爲に勞れたる柴田勢、シドロになつて崩れたつ、大將勝家大いに怒り、云ひ甲斐なき者共かな、イデ物見せんと乘出さんを、鎗を押取れて後の方より聲を掛け御主君暫くこ呼ぶ者あり、是は近習なる滿口半之丞、敵は私にお任せ下されこ提げたる鎗を投捨て馬を乘出し大手を開き『半』玄蕃は柴田勝家の家來、滿口半之丞と申す者、イデ組んで勝負を仕まつらん』と高らかに呼ばはれば玄蕃正貫大口開いて打笑ひ『玄』小賢しや少年、汝の主の勝家なりせば好んで勝負も仕まつらん、其方如き小童を相手に爲して何かせん、邪魔ひや退れ』と呼ばはれば半之丞大いに怒り半『過言なり玄蕃殿それこそ勝近の名前を聞いて氣後れせしか』玄『云はして置けばその大言不禮なる小伜め』と目方十三貫餘筋金入つたる梶棒にてうなりを生じ打ち下すをヒラリと退いた半之丞半『卑怯なり敵將、得物を捨よ、イデ組まん』と又々諸手を押し開く玄『憎き大言、望みとあらば捻り殺さん、イザ來い』と棒を投捨て進み寄る、馬上ながらにムズと組みエイヤオーと揉合しが、滿口はヤッと云ひさま鬼と呼ばれし玄蕃を鞍壺より引抜き頭上へ差上げこそ振つて投げつける彼方の岩石、勢ある方へ投付けられ流石の玄蕃、腦骨碎けて息絶たり、是を見て敵も味方も我を忘れドッこばかりに聲を揚げれば、此時半之丞大聲を張り上げ半『敵も味方も確に聞け、北國にて鬼と呼ばれし朝倉の玄蕃頭を投げ殺したは柴田勝家の臣滿口半之丞、鬼を投げたる此方なり、後來我が名を鍾馗半之丞こ改めん、確こ心得よ』こ高らかに呼ばはる、勝家も感服爲し忠は十數賞限りなし、ソレ乘込めこ柴田の人數は無二無三に乘込む爲に手筒山は落城爲す、是より此の滿口を呼んで鍾馗勝近こ云ひ傳へる、主人勝家は賤ヶ嶽の戰ひに敗れ、本國北の庄にて滅亡、滿口半之丞は北の庄を立退いて名を鍾田一閑こ改め諸國を遍歷いたしたが、縁あつて淺野長政に仕へまして士となりました、子孫は廣島の士族に殘つて居る、此の鍾田一閑が土俵へ上がる、エイと云つて立上がるこ、素より鍾田は無双の怪力、六助賢く其の身は寄らず手先のあしらひ、又々土俵の內を寬け廻ること飛鳥の如く、鍾田はすかさず四ッに渡る、力を極めて押し切り次第々々に押し退けられこう／＼東の土俵際、六助は六尺六寸、鍾田は身の丈七尺八寸、力を極めて押し出さんこ焉す、六助は土俵際にてソクと立ち、其の身を反らすこと弓の如く、アワヤ六助が負けかこ見れば、ズブネリこいふ手で筋斗打つて行司溜へ投げ、み六助の勝ちこなる、此時に秀吉公始め諸侯方其他の見物の人々も手に汗を握り息を殺して見て居たが、鍾田が負けると見るよりも一時にドッと聲を揚げ六助を賞めそやします、次の相手は母里太兵衛、黒田の家臣八虎の一人、總て元龜天正時分には皆頭へ鬼、虎などと名を命けたものであります、上杉家には四虎こいふがある、加藤清正の家に廿八虎、黒田家には八虎こいふ者がありまするが、中にも大兵術は黒田家自慢の者でございます

◎安東縣近事

▼第七十佐滿丸 安東神戸大阪航路の第一船こして十日入港したる第七十佐丸は歸航に軸木五百五十本豆油百噸を滿載して十二日神戸へ向け出帆すべし

▼圖書閱覽者數 去る十月中安東圖書館の閱覽者總數は二千六百六十八人にして內滿鐵社員九百十八名其他は軍人學生一般の市民由

▼安東信託活況 安東信託公所に於ける銀取引は近頃相場の變動に連れ益々活氣を呈し九日は前後場を通じ廿萬五千兩の取引ありたり

▼海關官舍落成 數月前より安東海關山街に建築中なりし支那安東海關官舍は既に大略落成したるを以て目下移轉中なり

▲東亞木材新築 今回新に創立されたる東亞木材株式會社に於ては事務所用こして四間に五間の二十坪二階建の煉瓦造家屋新築中なるが本月中には全部落成するに到るべしと

十一月十五日 九星 丙寅 舊十月十二日 本命 三碧 東北先負

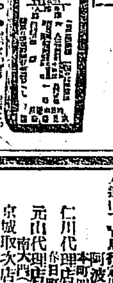
▲三碧 氣を配む事有日 證事新事有日 ▲二黒 ▲五黄 ▲六白 ▲七赤 ▲八白 ▲九紫 ▲一白 [illegible]

◎ミツワ消化錠（みつわ・こなれぐすり）
食物の蛋白澱粉及脂肪を消化吸收せしむる

適應症候 消化不良、食物停滯、食欲不振、食過、胃酸過多、胃弱其他、腸加答兒、病後の衰弱等總て消化を促さんこする場合、種々の胃腸病や神經病、其の他大抵の病は消化の機能を妨げるが、消化吸收を促すことを目的こして、病があれば勿論のこと、無くても總て消化を良くするには、ミツワ消化錠は消化を良くした藥であるから、米穀類や野菜類を消化する藥と肉類や牛乳雞卵類を消化する藥こを配合したもの故、理想的消化劑である。必ず用ひねばならぬ理

▼如斯人は◎ミツワ消化錠を用ふべし▲
一、消化を良くしたい人
一、食ひ過ぎた人
一、食餌が進まぬ人
一、何を食べても旨くない人
一、種々の病氣で消化の不良い人
一、病氣と云ふでなくて消化の不良い人
一、食物が久しく胃の中に停つて居る人
一、胃部の痛む人
一、胃部の張る人
一、噯氣の出る人
一、胃腸に障害のある人
一、貧血の人
一、病後衰弱の人
一、産後の衰弱して居る人
一、病弱で食物の食べられぬ人

三十錠 金拾五錢 百錠 金參拾錢 三百五十錠 金壹圓

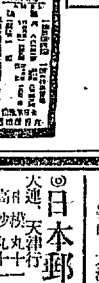


◎ミツワ健胃錠（みつわ・ゐのくすり）
消化吸收を促し食欲を增進せしむべき

適應症候 食欲減退、食物停滯、消化不良、胃酸過多、胃部膨滿、胃部壓重、胃痛、惡心、嘔吐、神經性胃病、急性及慢性胃加答兒、口が渴き、食欲進まず、食べても味が不佳く、惡心く嘔吐を催すこと、慢性胃加答兒にして、熱が出て頭も重くなる急性胃加答兒、即ち俗に胃病こ稱へるもの、尤に是等の症候を治すには、ミツワ健胃錠を用ふるに限る。

▼如斯人は◎ミツワ健胃錠を用ふべし▲
一、食餌の進まぬ人
一、何を食べても旨くない人
一、消化の不良い人
一、食物が久しく胃の中に滯つて居る人
一、食過ぎた人
一、飲過ぎた人
一、食物のあたつた人
一、吞酸の出る人
一、嘈雜のする人
一、噯氣のある人
一、胃弱の人
一、急性胃加答兒に苦しむ人
一、慢性胃加答兒に惱む人
一、胃酸過多症の人
一、胃弛緩症の人
一、胃痛の人

三十錠 金拾五錢 百錠 金貳拾錢 三百錠 金五拾錢

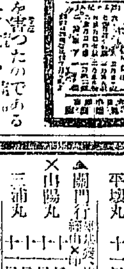


◎ミツワ制酸錠（みつわ・さけのどくけし）
酒及菓子類に因る胃の諸症を治癒すべき

適應症候 酒の惡醉、酒の過飲、宿醉、菓子類の過食、噯氣、惡心、嘔吐、溜飲、吐氣、胃酸過多症、急性胃加答兒、食欲缺乏、食物停滯、消化不良、胸焼け、酒を飲み過ぎたり、菓子や汁粉を食ひ過ぎたりして、嘔吐を催し、食慾が失、何となく心地惡しく、胸痛も出來なくなるのは、胃を害つたのであるの如き酒や菓子類から起る性胃加答兒其他胃酸過多症と稱へて、胃が痞へて重く、嘈雜のする病などには、制酸健胃劑のミツワ制酸錠を用ふるに限る。

▼如斯人は◎ミツワ制酸錠を用ふべし▲
一、酒に惡醉した人
一、酒を飲過ぎた人
一、宿醉した人
一、菓子など甘い物を食べ過ぎた人
一、噯氣の出る人
一、嘈雜のする人
一、酒飲の泡ある人
一、食慾の無い人
一、食物の久しく胃の中に滯つて居る人
一、嘔吐を催す人
一、吐瀉する人
一、胃酸過多症の人
一、急性胃加答兒の人
一、食後一二時間過てから胃の痛む人
一、酒の爲に頭の痛む人
一、酒の爲に胸の苦しき人
一、酒の爲に心持の惡き人
一、酒の爲に胃の痛み出來ぬ人
一、酒の爲に食事が出來ぬ人

百五十錠 金貳拾錢

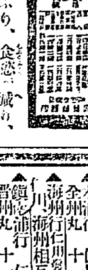


◎ミツワ緩下錠（みつわ・つうじぐすり）
瀉下作用緩和確實にして腹痛を赳さゞる

適應症候 常習便祕、又胃腸病、肝臟病、腦病、神經病、其他總て便通の不足なる場合。
便通が無いこ、氣分が勝れず、身體が倦怠く、頭痛や眩暈がして、心悸が亢ぶり、食慾へ惡心や嘔吐を催し、腹部が壓されるやうに感じ、痔疾を起すことがある。ミツワ緩下錠は溫和な下劑で、腹を痛めず、連用しても習慣しないから、常習便祕其の他の便祕に用ふるのは之に限る

▼如斯人は◎ミツワ緩下錠を用ふべし▲
一、常習便祕の人
一、便通が無くて
頭痛のする人……心悸の亢ぶる人
眩暈のする人……眠れぬ人
氣分の勝れぬ人……睡くてたまらぬ人
身體の倦怠い人……食慾の無い人
嘔氣のある人……腹部の重苦しい人
嘔吐を催す人……他の病症の惡くなる人
腹部の壓される人……腹部の張る人
一、緩和な便通を得たい人……腹を痛めずに便通を得たい人

四十錠 金拾錢 百廿錠 金貳拾錢 三百五十錠 金五拾錢



共同汽船仁川出帆
大連直行（關東都督府命令航路）
共同丸 十一月十二日正午出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕店
京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
大阪直行
赤有丸 十一月 日後四時出帆
群山木浦下ノ關大阪行
秀吉丸 十一月十三日後四時出帆
神代丸 十一月 日後四時出帆
君が代丸 十一月 日後四時出帆
仁川海岸通三丁目（電話五九番）高杉回漕部

五光商會汽船出帆廣告
◎元山、西湖、城津、清津行
第三五光丸 十一月十六日 釜山出帆
◎門司、宇品、神戸、大阪行
第三五光丸 十一月十八日 元山出帆
釜山 大池回漕部 電話一二三

◎日本郵船仁川出帆
大連、天津行 高砂丸 十一月十六日 正午出帆
大連、牛莊行 濟州丸 十一月廿六日
仁川海岸町 郵船 電話 回漕部

朝鮮郵船出帆
▲敦賀行 淸津 城津 元山 經由
平安丸 十一月十七日 淸津發
平安丸 十一月十九日 元山發
▲浦汐行 [illegible]
平壤丸 十一月十八日 元山發
▲雄基行 [illegible]
×山陽丸 十一月十五日 元山發
三浦丸 十一月十七日 元山發
▲元山雄基線
穩城丸 十一月十五日 元山發
▲大阪行 [illegible]
平壤丸 十一月廿七日 釜山發
▲關門行
×山陽丸 十一月廿二日 元山發
三浦丸 十一月廿九日 元山發
▲金剛山遊覽便
鏡城丸 月 日 元山發
▲濟州島行
咸鏡丸 十一月十九日 釜山發
▲釜山浦項線
昌平丸 十一月十四日 釜山發
▲濟州島行
東萊丸 十一月 日
▲釜山、麗水線
西湖丸 十一月十六日 木浦發
▲木浦麗水線
顧天丸 十一月十六日 木浦發
▲多島海行
多島丸 十一月廿二日 木浦發
▲木浦行
全州丸 十一月十五日 仁川發
▲海州行
海州丸 十一月 日
▲鎭南浦行
晉州丸 十一月十八日 仁川發
▲大連、青島行
江原丸 十一月廿三日 仁川發
◎朝鮮鐵道及社外船ノ荷客連絡ノ便アリ
本社 京城南大門通（電話長一九五二）
釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店 京城荷客取扱所
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

京釜線（南行） 同（北行） 京義線（南行） 同（北行） 京仁線（下行） 同（上行） 湖南線（南行） 同（北行） 京元線 [illegible]

京城日報　第五版

京城日報

彌天の塵氛漸く收まる　休戰條約成る

中歐同盟の維は、戰爭の不利こ共に緩み、先づ其の崩壞の端を勃牙利に發し、續いて土耳古、續いて墺太利こ將棋倒しに倒れ、獨逸は遂に孤立無援の地に陷りたるのみならず、國內に於てもキール軍港を中心こして、各處に騷亂勃發し首都伯林も亦革命派の手に落ちたりこ傳へられ、こゝに四年有餘の間、無理に無理を重ねて、戰爭を繼續したる反動が、殆んご收拾すべからざる狀態こして現はれたり。かくなりては如何に頑硬なる主戰派こ雖も、全く手を下すべき餘地なきに至り、反對黨のいふがまにく唯々諾々を表せざるべからず。即ち內に在りては、獨帝の退位、皇太子の帝位繼承權の拋棄こなり、外に對しては聯合軍總司令官フォッシュ元帥が交附せる休戰條件を其まゝ承服せざるべからざるの運命に接せり。結局獨逸は吾人が曾て評したる如く鬪ひに勝ちて戰ひに敗れたるもの結果こ爲り、滿四年四箇月の長きに亘り、全世界の生靈に禍したる獨逸の毒焰は、爰に始めて消滅し、正義人道の凱歌は天地を震撼するに至れり。

二

吾人は一昨十二日を以て、フォッシュ將軍の交附したる休戰條件の報に接したるも、當時未だ其全文を報道するの自由を有せざりしを以て、遺憾ながら之を篋底に藏め置きたるが、其の禁令は昨朝に至りて解除せられたるを以て、稍時後れこ爲りたるの感ありこ雖も事極めて重大なるが故に、其の全文を左に掲ぐ。

一、休戰期間は十一月十一日より向ふ三十日間
二、獨軍はアルサス、ローレン二州を含む占領地全部より撤退の事
三、獨軍はライン河左岸より撤退の事
四、獨軍は大砲五千、機關銃三萬其他多大の軍器を聯合軍に引渡す事
五、ブレスト、リトウスク及びブカレスト條約廢棄の事
六、亞弗利加に於る獨軍は無條件にて聯合軍に降服の事
七、獨軍は總ての損害を修復の事
八、獨逸は潜航艇及び軍艦數十隻を聯合國に引渡す事
九、獨軍航空機は聯合軍に引渡す爲め定地に合せしむ事
十、獨逸軍隊は黑海沿岸諸港より悉く退く事
十一、聯合國商船全部之を取戾す事

以上は米國大統領ウィルソン氏が議會に向つて發表したる所にかゝり、寸毫間違ひのなき所のものたり。

三

果然聯合軍の課したる條件は頗る峻烈にして、全然降服的なるこごは、一見して明瞭なり。殊に聯合軍の撤退區域中にアルサス、ローレン二州を加へたることなり。是れ明かに他日講和會議の際に、二州を佛國に還附せしむるの素地にして、例の非併合主義の撤回こ見るべく、勿論かくあらざれば佛國を滿足せしむるに足らず。しかのみならず此の二州を獨逸の手より奪回することは、即ち鐵の供給を絕ち、其の軍國主義の物質を絕つの必要あるに由るべし。又他方面に於てブレスト、リトイスク條約及びブカレスト條約の廢棄を命じたるは、露國及び羅馬尼の、不當なる損害を恢復したるものにして固より當然の措置なりこ雖も、是に由りて獨逸が曩に豫想したりし利得は、總て打破せられたる譯なり。爰に聊か解し難きことは、第七項獨軍は總ての損害を修復することの一項にして、文面に現はれたる所にては、金錢の賠償にあらずして、現物の修復に在ることは明なるも、獨軍の破壞したる建築物其他は、殆んご指を屈して數ふべからず。況して美術に關するものに至りては、之を修復することは實際不可能なれば、此の條件を履行するの至難なるや知るべし。

四

獨逸が此の如き峻烈至極にして殆ご無條件降服に均しき條件を課せられたるは、凱旋の天罰こも稱すべく、否應なしに之を履行せざるべからざる窮境に陷りたる、ながらも一片氣の毒の感なきにあらず。兎も角も全世界に亘れる禍亂は、是には大段落を告げ、敵味方の生靈初めて蘇息するを得たるは慶賀に堪へず。休戰條約既に成れり、次は講和會議に於いて一切を結了するの段取なるが、其の開きは明年に入るべきも、吾人は今日より至大の注意こ、細密の講究を重ね置かざるべからず。

東京便り

在京　一記者

◇政黨政治は最善の政治にあらず、又た最新式の政治にもあらず。時勢後れの論者が政黨政治を以て人類の理想、萬病の靈藥の如く主張するは淺薄迂愚寧ろ憐れむべき沙汰に候。

◇識者は活眼を開きて世界の大勢を觀察するを要す。政黨政治の本家本元たる英國政界が如何の現勢を呈するぞ。自由統一兩黨の現內閣擁護者は最近下院に集合し、一の決議文を可決し『吾人は政黨內閣の災害なきを思推す。故に各政黨の領袖等が現在の擧國一致內閣を精神實行の兩方面に於て援助せんことを望む』こ。

◇無論新聞の決議は未だ以て下院全體の意思と謂ふべからず。然かも大勢の趨向は推知するに足るものあるにあらずや。世の妄信なる政黨主義者、何の顏色がある。

◇若し今次の世界大戰に於て、最も記念すべき産物ありこせば、政黨政治の破滅を、其の第一に數へざるべからず候。軍國主義の打破を高調せられたる大戰亂が、終に政黨主義の破滅に終れるここ斷じてなれ。

◇有體に言へば大戰後英國には政黨政治なるもの存在せず、更に明確に言へば英國の政黨政治は一昨年末現ロイド、ジョージ內閣成立の瞬間に於て總揺を遂げたるものに候。彼は政黨政派を超越し、各派の人材を拔擢して內閣を組織せり。彼は人材を政黨のみに求めず、政黨以外の智識を網羅するに意を用ひざりき。故に彼の內閣は純然たる超然內閣なり。一黨一派を基礎こせる擧國一致內閣なり。而かも政府を組織すべしと爲せる英國の政黨は、明白に裏切られたるものに候。

◇吾人はロイド、ジョージ氏の勇氣を多こし、世界文明の爲め政黨政治撤廢の斷を賞讚するものに候。政黨政治は國論の分裂を前提こし、其の一半の勢力こ結託して一半の民論を壓迫する政治也。故に政黨政治は內爭の政治なり、權力爭奪の政治なり。政府は國策の遂行よりも、反對派の攻擊に對抗すべく、精力の大半を傾注せざるべからざる政治也。

◇若し天下泰平にして萬民鼓腹する時代ならば、斯くの如き政治も或ひは之を忍び得べし。國家興廢の大難局に會し、國力を集注して外敵こ鬪はざるべからざる場合に方り、何の暇ありて國內に相爭ふの愚を演ずべけんや。擧國一致は政治の異論也、人材內閣は國民の良知善能を寬むる所以也。ロイド、ジョージの超然內閣は、英國を救濟すべき最善の手段に外ならざりし也。

◇然れども一國の政治に戰時用こ平時用この二種あるべからず。政黨政治が戰時用こしても不適當ならば、平時用こして不適當ならず。同時に平時用としても不適當ならざるべからず。世界大戰の最大教訓は、戰時を通して平時の國家組織に一大缺陷あるを指摘せる事に存し候。これ政黨政治が國民の頭に於て最不適の政治樣式たるを暴露せる所以に候。

◇英國下院の有志家が、政黨內閣の復活を以て英國の將來に災害ありこ斷ぜるは、頗る注目すべき現象にして世界革新の端緒に候。裏面にロイド、ジョージ氏の運動ありや否やは吾人の問ふ所にあらず、國家の政治が黨爭政治より、統一的超黨派政治に推轉せるは、進化の理法に絕大の意義を有するものに候。政黨主義の盲目的中毒者少からず、偶々英國最近の政情を耳にして、茫漠の興味を禁せず、一端を披瀝し大方の叱正を乞ふ所以に候（十一月八日）

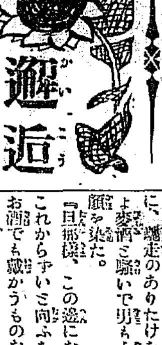
記念號發刊

我京城日報が明治三十九年九月一日を以て其第一號を發刊し今日に至て實に星霜十三を重ね號を積む事四千此間社中同人の努力あるも湖江愛讀者諸君の多大なる看顧を蒙るに非ずんば又た能く今日の隆盛を見んや之れ我社の常に深く感謝する處也今四千號に達せしを記念せんが爲め十五日より一週間記念號を發刊し聊か自祝の意を表せんこす冀くば更に多大の看顧あらん事を

京城日報社

南北安協一策

在北京歐洲某國公使は南北妥協に關し左の如き意見を漏せり（北京一）南北の爭論を支那自身の解決に一任し置かんには何れの時に平和を招徠すべきや前途永ご知るべからず聯合國は支那の紛爭により種々の不利を蒙り居るを以て各國協同して南北妥協の周旋をなすべし勿論立入つて干涉がましき事は問題なれごも民國一年即ち第一革命當時の例に傚ひ聯合國の斡旋にて南北双方より全權委員を中立地帶たる上海に派遣し平和會議を開催せん事を勸告するは機宜の方法なりこ認



邂逅

四十八　佐々木峰雪

毒藥（三）

『さゝ坊ちやま旦那樣に後れんやうになさりませ、爺は若樣こ後から參りまするで』こ後れんやうに』

吉兵衛老爺は庄吉の手を取つて重さうにこほ〳〵こ歩いた。今日は箕面へ紅葉狩に行くのである。

『坊早く叔父さんこ來るんだ』庄五郎は振り返つて庄造を促した。

『いやだ〳〵僕兄ちやんこ行く』

だ』こ庄造は庄吉こ手を取つて、さもうれしさうに電車の乘場へ急いだ。

お里は小さい信玄袋こ洋傘を片手に、今日を晴れこ着飾つて、お染からの賴みを胸に包んで後に從つた。

梅田で降りた五人は又も乘り換へて箕面へ向つた、兄弟は嬉々こ叫んで外の景に見惚れた、やがて電車が箕面へ着くこ、五人は吐き出されるやうに昇降口を降りた。

庄造は今迄に一寸連れられて來た事があるので、庄吉の手を取つて走つた。

『まア旦那樣御覽じませ、坊ちやまのお早いこと、若樣はお歳こそ上でも根が苦勞さしやつた方だけに、此の箕面へもはじめてらしい、珍らしさうに見て居らつしやる』

吉兵衛は重の物片手に、ずつこ後影の小さうなつた二人を眺めて云つた。

『庄坊ははじめてぢや、箕面ばかりぢや無い、こんな樣な田舍電車に乘るのもはじめてぢや、誰だつて珍らしがるのは當然だ』

こ話しながら三人は足早に二人を追ふた、二人は行手に立ち止まつて、頻りこ話し合つて笑つて居る。

其處には七八人の男女混じりの浮かれた酒宴が開かれて、一人の若い女が狂つたやうに踊つて居るのであつた。二人は興がつてそれに見惚れた。

『こりや〳〵』こ男や女が手拍子取る每に、その女は夢のやうになつて踊り狂ふた。『詰らないよ』こ叔父に云はれて、はじめて自分に返つて二人は叔父の後に從つたが、未練さうに時折後振り返て見た。

『はゝゝ、坊も踊は好きか』庄五郎は庄造に訊くこ、庄造は困つたらしい顏で

『兄ちやん踊好きなの』

『あゝわたし踊好きです』

『まア僕叔父さん踊大好きだよ』

『こりや驚いた、踊の好きな庄坊に相談か、いや兄弟は連つたものぢや』こ感じ入つた。

此處に一團彼處に一團こ、今を盛りの燃ゆるやうな紅葉の大樹の下に、馳走のありたけを廣げて、酒よ麥酒こ騷いで男も女も秋らしう顏を染めた。

『旦那樣、この邊になさりませ、これからずいこ向ふを見ながら、お酒でも飮めうものなら天の國へでも行つたやうでございまする』

こ吉兵衛はこある大樹の下を指して云つた。

『そりやう』こ頷いて庄五郎は先に其樹の下に陣取つた。

吉兵衛は此處へ用意の敷物を廣げるこ、庄吉こ庄造は跳るやうにして悅んだ。

『爺や酒飮んで踊れ』庄造は斯う云ひながらも先刻の踊はこ振り返つたがもう餘程離れて居るので、聲さへも聞えは無かつた。

『坊ちやま宜敷うござりまする、老爺が酒に醉いたら踊つて〳〵、樣も坊ちやまも、お笑ひ轉げになる迄踊りませうわ』こ吉兵衛は笑ひながら用意の馳走を並べた。

『さ、坊も皆御馳走たべるんだ』

庄五郎は盃を取り上げて云ふ、

『や、兄ちやんあれ彼處にも踊つて居る』

庄造は自分等のつい橫手に三六人の一團が立つ事さへも出來ずに追ふやうにして踊つて居るのに目を輝かせた。

『面白い〳〵、兄ちやん見に行かう』庄造はつこ起つて叔父や吉兵衛の止めるのも肯かず、庄吉こ共に飛ぶやうに走つた。

『あれ程お仲の好い御兄弟は、まア滅多にはござりますまい』こ吉兵衛は感心した。

詞藻

江亭月夜　河島五山

橋畔小亭雅筵開、笙歌一笑幾徘徊。金風拂檻珠簾動、殘客過江……

悲秋　田淵柔州

……

悲秋　大石松逕

……

◇名刺の心得（家庭顧問）

實際に役立つ利殖秘傳書出づ！

苗植物花卉（内外）　定價表進呈　兵庫縣川邊郡山本村　百花園種苗場　東園田樹　盆栽　卸小賣業

復利增進　金錢利殖秘傳　副業世界社編纂　洋裝中判特價送料共金八拾五錢　副業世界社

活動畫報　十二月號　定價二十五錢

懸賞　俳句短歌狂句題…　少年出版社

マント界の大革命　羅紗地の暴騰に從ひ今冬のマント類は大恐慌を來さんとす　茲に於て弊社は紡織界の大家が多年研究したる結果最新の發明に係る本品を提供するものなり　本品は羅紗地の原料を用ひ之れに防水作用を施しあれば單に防寒のみならず降雨の時も傘の必要なし品質は頗る丈夫にして体裁も亦普通羅紗地に劣らず而も價格は其の三分の一に過ぎず　高尚優美　廉價德用　何故本品斯く廉價なるや化學上最新の發見に係る國産品なれば也　本品は裁縫入念体裁高尚なれば晴雨兼用となり和洋服何れにも適し官吏會社員農商家は勿論に自轉車乘用者男女學生の通學用防水防寒具こして最適す（見本希望者には無代進附す）特に此際御注文者に限り風雨用頭巾を無代進呈す　地方の御注文は代金引換にても送る　防寒防水の羅紗マント　發賣元　東京市芝區三田功運町貳拾四番地　日興社

造船講義錄　技術員缺乏の急に應じ皆析式通信教授を爲す技術習得生　日本造船協會

購買入札　民間用紙五十萬枚　大正七年十一月十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

專賣店　東京日用雜貨製造組合

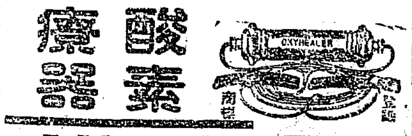
小學卒業者が家業の傍ら官立中學在校と同等の資格が出來る『模範中學講義錄』を讀め　大日本模範中學會　東京市神田三崎町三丁目

世界少年　十二月號　新案遊戲　鳥の巢奪ひ　評判の記憶をよくする法　第二回懸賞大募集　東京麴町山元町　新光社

ニッポノホン　十一月新譜（賣出し）　晚秋の月　皆新　常盤津 戻り橋 松尾太夫　活動寫眞 神の娘 染井　コールネット グロリオソ 中川　劇歌 森の娘さん 火の粉 松井須磨子　落語 野崎詣 花橘　源氏節芝居 龍夜叉 松旭　長唄 初時雨 兵藏　琵琶 七郷落 錦心　紅葉の錦は梢を飾る　ニッポノホンの新譜は生活に光輝を與へる　鷲印レコード（兩面盤）金壹圓貳拾錢　日本蓄音器商會

新刊最新劇　四十女の離婚せる　思ひ切った告白　黒岩涙香先生推獎　岡田安治先生譯　中央出版社

酸素療器　オキシヘーラー　▽實驗例說明書贈呈△　正價金參拾五圓　東京市牛込區新小川町三丁目十一番地　オキシヘーラー獎勵會



◇革命黨の勝利
革命黨多數の都市を支配す

最近の所報に據れば伯林に於ける革命軍は極めて美事に流血の慘を見ずして勝利を收めたり伯林は今や秩序全く恢復し全市經濟の聲に充てり尙ほ獨逸全國を通じて蔓延しつゝある革命運動は一般に社會民主黨により指導せられ既に革命派は多數の都市を支配しクルップ（有名なるクルップ會社主）夫妻を逮捕せり（東京特電）

◇獨帝位居推測

瑞典新聞並に丁抹新聞は獨帝は瑞典に居を定めんとの心組なりと推測しコペンハーゲン駐箚獨逸公使は宮殿に當つ可き資家を搜索中なりと報道せり（コペンハーゲン特報）

◇獨宰相政府組織宣言

獨逸新宰相は速かに平和を克復す可き人民の政府を組織す可しと宣言せり（アムステルダム電報）

◇忠誠謀叛派戰鬪

倫敦來電＝獨逸スチュレスウイッヒ港に於いて獨逸海軍中謀叛派と忠誠派との間に戰鬪行はれつゝあり（東京特電）

◇獨新政府と秩序

獨逸新民主黨政府は大部分社會黨員より成り閣員としてはエルベルト、シャイデマン、ランドベルグ、ハーゼ、ヂットマン、バールド等の領袖を含み人民委員會議を構成せり諸軍隊は社會黨の命に服し秩序維持の任に膺り掠奪者は嚴重に處分され今や商店其他は平常通りに開かれ諸工場は近く作業開始す可し（アムステルダム電報）

◇獨政體決定議案

獨宰相マックス公は普通選擧方案及び政體決定議案を議會に提出すべき旨聲明せり（倫敦電報）

◇伯林間外國電報差止

伯林諸外國間の電信は他日何分の告示ある迄差止められたり（アムステルダム電報）

◇新共和國の宣言

巴威王は廢位されウュルテンブルグ國王は退位し孰れも共和國と成れる旨布告され巴威國王皇太子は巴國首都ミュヘンを退去しシュレスウイック、ホルスタインは獨立及び共和制を宣言せり（アムステルダム電報）

◇我講和基礎條件
及び參列正副使決定

休戰條件決定の件は松井駐佛大使より報告あり七日來外務省にては連日重要會議を續行し帝國政府の講和に對する具體的基礎條件を凝議し十二日全部決定を見たれば十三日の外交調査會に附議し其承認を得たる上上奏御裁可を經てヴェルサイユの聯合各國講和準備會に提出さる可く右會議には豫ての訓電に基づき珍田駐英大使正使として松井駐佛大使副使として參列するに決定し居れりと（東京特電）

◇ジャナン中將浦鹽へ

チェック軍總司令官佛蘭西陸軍中將ジャナン氏は過般來上京中の處十三日下關着直に乘船浦鹽に向け直行せり（門司特電）

◇東郷中將歸任

鎭海要港部司令官東郷吉太郎中將は十三日朝入京直ちに歸任の途に就けり（釜山特電）

◎米國選擧結果

米國上院三分の一及び下院選擧は去る五日執行せられたるが某所に達せし處によれば上院は共和黨四十九、民主黨四十六、（アイダ州の分一名未定）下院は共和黨二百三十九、民主黨百九十四、獨立黨一、社會黨一の結果となれり從來上院は共和黨四十一に對し民主黨五十五にして民主黨は十四の多數なりしが今回改選の結果共和黨は三名の多數となり未定の分一名の去就如何に拘はらず假令未定の分一名が民主黨側とするも尙二名の多數なり又下院は從來共和黨の二百十七に對し民主黨は二百十三にして共和黨は四名の多數なりしが改選の結果は民主黨は大敗して共和黨より四十五名の少數となれり斯く民主黨が上下兩院を通じて大敗し共和黨側が多數を占めたる米國議會の態度は頗る注目に値するものありと云ふべし（東京）

◎英獨財界近情

在倫敦森財務官より高橋大藏大臣への來電左の如し（東京）

▲英國軍債賣高　一旦賣行の減少を見たる國民軍事債券は本月二日に終りたる一週間の英蘭銀行賣出高は二千九百二十八萬六千八百六十二磅に達すコンソルは六二に騰貴せり

▲戰後原料政策　曩に戰後經濟大臣の任命せる委員會の報告書に基づき政府は戰後に於ける工業原料其他必要品の缺乏に對する方針を決定したるが右に依り戰後優越權に關する内閣委員會並に其補佐たる當路評定官を組織せり

▲蘇債の應募額　第七回蘇洲軍事公債の應募額は既に四千二百六十七萬七千六百四十磅に達したるが締切り期日に於ては第六回と同額の四千三百萬磅を超過すべしと豫想せらる今回の成績に附いて特異と見るべき點は應募日數前回の何れよりも多き點にして其數實に二十三萬三千百五十三に達せり又同公債の累計額は一億八千六百九十九萬四千九百四十磅を算す

▲獨銀紙幣陳述　獨逸帝國銀行總裁の中央委員會に於ける陳述に依るに獨逸國民は諸銀行が仕拂不能の窮況に陷りて仕拂猶豫令の發布せらるべきを恐れ各種通貨を蒐集死藏しつゝあり帝國印刷局は紙幣の急需に應ずるを得ざる爲軍事當局の同意を經て戰線より職工を引上げつゝあり九月廿四日より十月廿三日に至る一箇月間に於ける各種紙幣の流通增加高は二十六億五千百七十萬馬克にして昨年同期間の增加額七億三千四百萬馬克なりし軍事公債の利札を以て法貨としたるは死藏に依る通貨の不足を補給し是が分配を助けんとするの趣旨に出づと說明せるが之に依り同國經濟界の混亂如何を知るを得べし

◎政務總監出發

山縣政務總監は目下大邱に於て開催中の慶北共進會視察の爲め十四日午前八時四十分南大門發列車にて南行の筈

◎綿絲更に頽勢

原棉次第なるかに觀ぜられたる綿絲界は前日原棉高の割合には伸びず依然戾り賣人氣なりしが米棉の低落入電に九日定期市場は軟弱を辿り杉之森が大體保合なるに三品は先物三百十四圓臺に陷り當限再び四十圓臺に下押すなど不安は稍緩きものあるを示し綿布も三綿四五月限九圓九十錢と新安値を付け全く原價採算を無視するの不安相場を現はし來れる趣きあり不安渦中にては實物の手控へ勝ちなるに反し繫ぎ物旅出し大勢を支へ得るに足らず目下の强材料たる期待は原棉の高値落付と現品滯なるが之等も人氣の惡化に及ばざれば此上原棉の低落を見んか更に深押しあるべしと觀測さる（東京）

◎休戰と海運賃

休戰條約の調印は講和來の近きを見越させ内地に於ける傭船料は殆ど著しく軟調に傾むけるが然も内鮮間の運賃は尙低落せる傭船料の傭船を以てするも引合はず旁運賃の引下げを見るには尙ほ時日を要すべし唯講和人氣は幾分運賃に軟風を加へ居るに似たり

◎電氣製鐵計畫

京城麻生音波氏等を中心とし計畫中なる鎭南浦の電氣製鐵事業は動力の電氣を東拓計畫のモンド瓦斯發電に求むるを利便とするの關係上最近準與對岸船橋里に移す事となり近く建設工事に著手すべきが一日廿噸の製鐵をなし得る豫定也

◎鈴木氏の招宴

前土地調査局長鈴木穆氏は土地調査局閉局の挨拶の爲め十三日午後六時より官民主腦者五十餘名を朝鮮ホテルに招待宴を張りたるが頗る盛會なりき

◎京畿地方費決算

大正六年度京畿道地方費歲入歲出決算左の如し

▲歲入　經常部　五十七萬八千八百五十九圓四拾[illegible]萬四千六十二圓八拾二錢決算ニ内臨時恩賜金受入二十九萬五千四百壹圓九十六錢

臨時部　貳拾四萬壹千五百七拾貳圓豫算額貳拾四萬九千五百四圓五拾一錢三厘決算額內臨時恩賜金受入五萬七千三百八十壹圓七拾錢豫算額合計金八拾壹萬六千四百參拾壹圓決算額合計金[illegible]百六拾七圓三拾三錢三厘內臨時恩賜金受入三十五萬貳千七百八拾三圓參錢

▲歲出　經常部　四拾七萬八千六百八十二圓豫算額三十九萬壹千七百八十七圓七拾錢五厘決算額內臨時恩賜金歲出貳拾參萬四千五百貳拾四圓貳拾七錢

臨時部　參拾參萬七千七百四拾九圓豫算額參拾貳萬四千百八拾[illegible]圓拾五錢決算額內臨時恩賜金歲出十萬五千六百四十八圓二十錢豫算額合計金八十壹萬六千四百參十壹圓決算額合計七十壹萬五千九百七十壹圓八十五錢五厘內臨時恩賜金歲出三十四萬百七十貳圓五十七錢歲入歲出差引殘金參萬七千五百九十五圓四十七錢八厘

◎鐵道院航路里程

鐵道院に於ては手小荷物運賃計算の場合に於ける航路營業哩程を左の通定めたる旨通知ありたるに付連絡の場合は右に依り計算す可しと

航路營業哩程下關釜山間百五十哩下關門司間十哩宮島嚴島町間二哩宇野高松間十五哩青森函館間百哩但し門司釜山間は百六十哩

◎狀使用料

十一月九日附を以て松永京畿道長官は左記四郡管內に於ける大正七年度國有狀使用料現品換算價格を左記の如く定めたり

郡名	品目	一石當換算價格
高陽郡	籾	十圓
振威郡	同	同
坡州郡	同	同
利川郡	同	同

◎十月元山貿易

客月中元山港に於ける輸移出入貿易狀況を聞くに輸移出總額三十五萬五千四百十七圓輸移入總額七十三萬一千二百四十七圓合計百〇八萬六千六百六十六圓にして前年同期に比較し輸移出に於て七萬二千十三圓の減退を示せしも輸移入に於ては十九萬三千四十二圓の增進を示し結局合計十二萬一千百三十九圓の增加を示せり、之れ主として輸移出の減退は米豆類鮮魚乾鰮生牛の出荷旺盛なりしも皮革製品其他雜品の著しく減退せし爲めにして輸入の增加は大豆布帛綿絲及び同附屬品燐寸小包郵便物其他雜品の增加せしに基因するものなり、其輸移出入主要品價額を示せば左の如し

▲輸移出品名價額　米五八、四六五小麥一〇九三、大豆四〇、八四五其他の豆類一、九三魚類一五、五五〇乾鰮二七、四〇九鯖及沃鯨一一、七〇九鐵鑛六三九四四皮革一二、七七四皮革製品九九

◎赤愛支部總會

赤十字愛國婦人會大邱支部にては慶北物產共進會開會を機とし來る十六日午前十時同會場內にて第二回總會を催す由なるが同支部は之がため豫てより社員及び會員の勸誘に努めたる結果新に特別社員篤志者十六名正社員三百五十名贊助會員二十名其他特別會員外多數の增員を示し現在に於ては社員三千餘名會員九百余名の多數に達せる狀況なるが總會當日山縣本部總長臨場の筈にて尙大橋主幹は十四日出張諸般の打合せを爲す由なり

◎忠清丸就航

朝鮮郵船會社にては豫備船たる忠清丸（八百噸）を仁川群山方面に廻航せしむべしとの說ありしも右は直ちに實現困難なるもの、如く同船は來る十五日内地の島船渠を出帆後釜山陜神間に就航すべしと

◎共進會と釜山商盟

釜山商業會議所の主催にかゝる慶北共進會觀察團組織につき夫々各商工業其他組合等に發表勸誘中なるが愈十四日午前十時半出發午後大邱着同夜一行の爲め催さるゝ協贊會の歡迎會に臨み十五日午後七時著にて歸釜の筈なるが尤も團員の都合にては時日を延期するやも知れず（釜山）

◎醫興普校開校式

京畿道龍仁郡に新設せる醫興普通學校にては來る十五日開校式を擧行す可し

◎龍山南大門間臨列

十三日より大正八年四月三十日迄龍山南大門間左記臨時列車を運轉すべしと龍山發午後四時十分南大門着同四時十六分、南大門發午後三時五十五分龍山着同四時一分

◎廣州農産物品評會

十三日より十六日迄四日間京畿道廣州郡管內廣州普通學校に於て農產物品評會を開催し來る十五日午前十一時開校式並に品評褒賞授與式を擧行する由

人事消息

▲バーゲンホルツ氏（米國領事）十三日朝來國領事館へ移轉
▲乾法學博士　十四日朝内地へ
▲野村峰一氏　十三日朝歸京
▲石川八十郎氏　十三日夜同
▲廣瀬憲兵理事部長　會計經理檢查のため過般一等主計に谷二等主計を伴へ十八日南鮮地方へ出張十二月十五日歸任の豫定

◎……鳥瞰錄……◎

遞信局課長以下の高等官も大テイ惡性風邪のお見舞を受け何れも幾日か引籠つた▲その中には楠木副事務官の如き寒下十度の極寒に漢江の氷を割つて泳いだ剛勇の士も含んでゐる▲然るに監理課長の矢野事務官のみは獨りクッシャミ一つせず每日不相變健康だ高等官食堂で君の前後左右は殘らず倒れて終ひ君が君のみは無事である▲殊に君は可なり熱の强かつた令息を幾夜か抱き寢を續けてさへ感染しなかつたと云ふのでその鼻息は大分あらいらしい▲然し君の同僚は君のみ獨り無事なのを小面憎く思つてか『何しろ今度の風邪は誰れ一人遁るゝわけに行かぬ然も遁くなれば可なる程惡性だからな……』とか何とか云つて君を怖がらしてゐるさうな▲然し課長は何なる健康には健かにする事を努めてゐるから無注意する方で第一遞書第二胃腸を事過過する積りだと語つてゐる▲その云ふやうに此頃の寒さに外套も著ず制服の下に薄いシャツ一枚ですましてゐるさうな▲も一つ風邪話だが鮮銀の幹部中風邪で引籠らぬのは高久第一課長だけらしい▲然も高久君の風邪に對する神經の銳敏な事は驚くべきものがあり少し發熱氣味だとか又は咽喉に異狀を見出すと早速銀行から歸つて解熱劑をのみ額を氷で冷して出來るだけの養生をするんださうな▲で風の神も君を襲はふとしては際退され又犯しかゝると、きまつて君にはねこばされ兎に角よりつかせぬのだと。

◎獨帝退位事情
大勢の赴くところ遂に不可抗

獨逸國内の形勢より見て獨帝の退位は屢々報道せられたる如く當然來るべき事實なるべし今最近に於ける形勢より判斷して獨逸皇帝退位の事態を察知するに米國大統領が數回に亘る對獨通牒に依りて現戰爭に對する責任者としてカイゼルに對し痛烈なる攻擊を加へ剩へ此責任者が權力の中心點に在る間は斷じて講和の商議に入る能はざる旨を宣明し更に此責任者にして

▲現地位を持續　し而も講和をなさんとせば幷は絕對的屈服の條件たるを要する旨を通ぜり之以來獨逸國内に於る皇帝退位の輿論は益熾烈の度を加へ社會黨一派は之が中心となりて退位を强要し獨立社會黨首領にして現政府の無任所大臣たるシャイデマン氏は軍事閣議に此問題を提出しマックス宰相に强要する所あり遂に中央黨左派（舊社會黨）首領現無任所大臣エルツベルガー氏之に贊成し閣外に在りては社會共產黨首領リーブクネヒト氏等專ら急先鋒として退位を絕叫したるも中央黨保守黨自由黨及び南方獨逸社會民主黨一派は退位反對者しく

▲尙早論を唱へ　たるを以て閣議の決定を見るに至らざりしが國内の輿論は退位を要求したる次第と見らるべきが現下の政局より見て社會黨が現政局の中心となり去るに於ては政局を支持し難き事態等ろ明白なれば勢ひ現政府は社會黨の要求を容れざるを得ず況んやバヴリヤは已に普魯西の羈絆を脫して獨立し共和政府を樹立しキール軍港に蜂起したる水兵の暴動は墺、ミュンヘン地方に波及し革命熱は日々擴大し軍艦は大部分叛旗を飜し之に勞働者農民等の左袒するありて形勢日々に

▲危急を告げた　るを以て皇帝も遂に其地位を支持し難く退位するに至りたるものならん而して退位後の獨逸の形勢は如何に變化するかは今日の處にては豫斷し難きも一足飛びに共和の宣言をなすや否やは多少の疑問あれば或は一時的に他の王家より皇帝を擁し來るやも知れ難し左れど大勢は共和聯邦制に傾きつゝあるの如く國內に於ける社會黨の勢ひは旭日の如き狀態にして勞兵會の組織隨處に起りつゝあるを以て今後の獨逸は

▲全く民主化せ　る下級民の手に勢力歸するは當然と云ふべく宛然露國崩壞の實情に彷彿たるものありと云ふべし、而して普魯西に次いで勢力あり家柄なるバヴリヤ王國は既に共和を宣言したる今日なれば爾餘の國の狀態も略察知し得べきも此際バヴリヤ、サキソニー、ユノテンブルグ諸王國の形勢こそ今後の獨逸國體變化に至大の關係あるものと云ふべければ最も注目を要すべく多年普魯西王國が全獨逸の勢力を把握し來りたるも皇帝退位後は全然普魯西の勢力亡滅したるものと云ふべく從つて獨逸の形勢に一大變革を加ふるものと云ふべし

◎獨墺の時局

英國に於ける新聞紙所報の時局[illegible]ル、カロリー伯を首長とする匈牙利國民會議の手に落ち匈牙利の政[illegible]納の自宅に於て兵士の爲め銃殺せられたるも未だ一般に革命的暴動[illegible]には至らざるものゝ如し[illegible]艦隊を匈牙利國會議に引渡す旨[illegible]の勸誘を與へ拒絕せり右は實に既定の[illegible]及び維也納に於て軍事狀況を問ひ[illegible]實したる猛斷政府閣員及び政黨首[illegible]しコペンハーゲン來電はシャイデマンが退位の必要を力說せる[illegible]也納に走り先に開戰當時社會黨の中心たりし農民黨はティルノツに[illegible]

仁川期米

▲十三日後場[illegible]
平均値五十六錢
▲先限一節二十六圓九十八錢九錢
二十七圓六圓九十九錢八錢九錢七[illegible]
[illegible]

仁川米豆取引

八[illegible]九錢二十七圓七圓〆一錢二錢
[illegible]

下關期米

平均一節 二十六圓九十八錢
同 二節 二十七圓〆一錢
同 三節 二十六圓九十二錢
同 四節 二十七圓〆一八錢

胃腸病の積極的療法

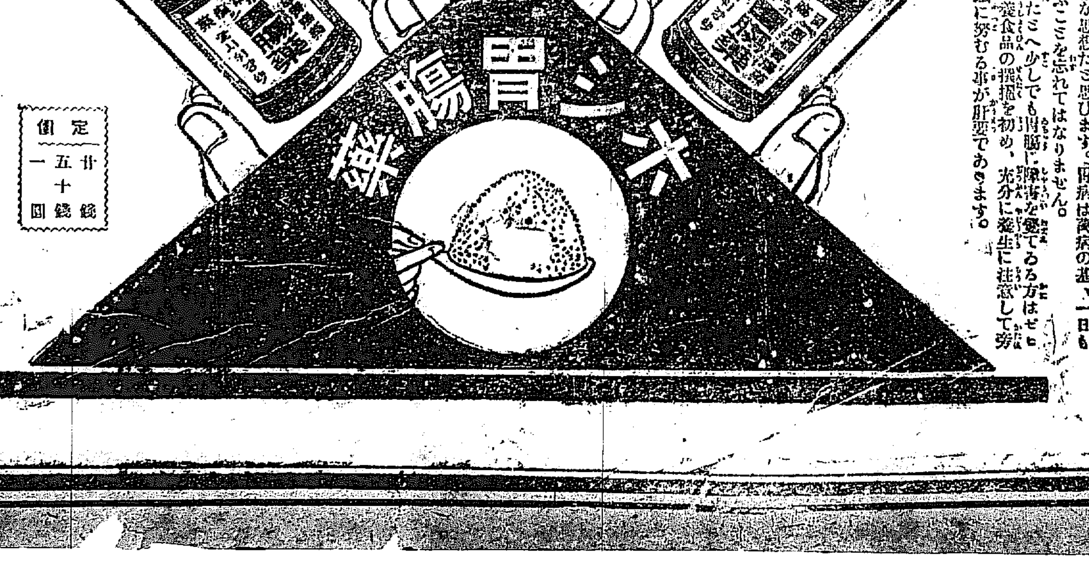
一名秋季療法

「秋は一年中で一番胃腸病を治し易い時である」とは有名なる專門學者の說であります。胃や腸の弱い人は是非試してご覽なさい。慢性の頑固な胃腸病も秋、即ち今の季節に適當なる食養と藥療とを施したならば案外容易に治るのであります。つまり夏の中は暑さの爲に食慾は減じ、胃の筋肉が自然と衰弱して來ますから、養生と申しても結局消極的に胃腸を保護すると云ふ事しか出來ないが、秋になつて涼しくなると體力が自然に回復して來て、胃腸の活動力も旺盛となり、食慾も進むが故に滋養分の吸收もよくなり、總てが積極的に變化して進んで來るから永年の胃腸病も回復を促進する事となるのであります。

本邦では統計の示す處によるとあらゆる病氣の內で、此胃腸病が一番多く亦た死亡率も從つて多い樣で有ります。よく一般の人が『ナニ胃腸病位』と一口に云つて、胃腸の病を非常に輕く見る人が多い樣だが、是は極く危險な思想だと思ひます。『胃病は萬病の基』一日も速に治す樣に心掛けねば危險であると言ふことを忘れてはなりません。されば永く胃腸病に苦しんで居る方は勿論たとへ少しでも胃腸に故障を覺てゐる方はゼヒ此秋の季節に於て滋養食品の攝取を初め、充分に養生に注意して旁ら信用ある良藥を服用し、大に積極的療法に努むる事が肝要であります。

適應症

消化不良の時
食慾不進の時
飲過食過の時
腹痛吐瀉の時
胸痞への時
胸の苦しき時
胃腸カタルの時
胃擴張の時
溜飲の出る時
二日醉の時



ホシ胃腸藥の原料は一々本社工場の試驗部に於て嚴密なる試驗を遂げ有效成分を完全に具備するものに非ざれば使用せざるが故に其效能の的確なるは絕對に信用を措く事を得べし

本社工場は規模宏大にして設備の完全なる東洋第一の稱あり技術者としては博士、ドクトル學士等の最高の專門學者ありて自ら親しく製藥に從事するを以て其製品は各位が安心して貴重なる生命を托し得るものにして內外幾千萬の愛用者が其卓越せる效果を認め、期せずして各家庭に賞用せらるゝ又當然の理なり。

定價　廿錢　五十錢　一圓

東京京橋南傳馬町三丁目
星製藥株式會社

[illegible]は十[illegible]月[illegible]日[illegible]して獨墺國[illegible]内[illegible]民族の中樞として[illegible]國會樹立を宣言し又同日頃ブダペストに於ける實權は全くミカエ[illegible]せり報ぜらる墺國は斯くの如く四分五裂の狀況に在り人心動搖甚だしく十月卅一日夜チッサ伯は維也[illegible]に退隱したるが一日頃墺國艦隊はアメラム及びポーラに於ける南スラヴ議會に引渡し又ダニューブ小[illegible]▲月アンドラッシー外相辭職の報あり五日カール皇帝は下墺太利[illegible]▲フオールヴェルツ紙は獨逸皇帝の退位は時の問題なりとの印象を[illegible]く一般に行はれんとする旨を記載▲バヴリヤには單獨講和希望の[illegible]く一般に高からんとすと報ぜらる▲ブリガリア王ボリス退位して[illegible]の報道あり

まず莫大な戰費を費消した後であるから極度の節約をして利益を得る事に努めねばなりません愈問題は之からです私も此前國へ歸つてから七年になりますが一度歸國して戰後の狀態を見度いと思つてゐます。

◎巨艦巨砲主義へ

世界海軍の趨勢

歐洲戰亂が示した活きた教訓 買被られた潜航艇の威力

新任總督府附武官 東條海軍少將談

新任總督府附武官東條海軍少將を官邸に訪ふ折柄來客中なりしにも拘はらず快よく記者を迎へて『まだ何も碌々片付けて居らぬやうな有様で誠に取亂して居りますが……』と冒頭しながら諄々として語る

講和もいよ／＼モノになり相だが何と云てもまだ休戰條約が成立した許り是から講和の豫備會議を開いて双方の間に一致點を見出したところで初めて本當の講和談判に入らうと云ふのだから愈々現實の上に平和を見るまでには尚一兩年を要するであらう

▽今度の戰亂 では形而下形而上の別なくあらゆる方面に於て種々の教訓を得たが我海軍の如きも亦千載一遇の好機に際會して却々容易ならぬ教訓を得た巨艦巨砲主義は最近に於ける世界海軍の趨勢であるが今度の大戰亂によつて巨艦巨砲の威力は實際に證據立てられ將來の海戰は多々益々巨艦巨砲主義に依らねばならぬ事が明白になつた從つて

▽世界の烈强 は今後一層巨艦巨砲を製造する事となるべく日本に於てもこの大勢に遲れぬやうに多大の努力を要する次第である我海軍も日露戰爭當時に比べると無論非常なる發達を遂げたもので今では三萬噸近い巨艦もあり主砲の如きも十二吋時代から十四吋時代に進むなど實に隔世の感があるが然も翻つて考へて見ると貧弱な我國の財政で——

▽今後列强の間に伍して相當に海軍力を擴張して行事が出來るか何か何しろ海軍は陸軍と違つて却々金を食ひ大砲一發ブッ放しても何千圓と云ふ大金が消えて仕舞ひ戰鬪艦を四五日動かせば直ぐ二三百噸の石炭が煤になると云ふ有様それに建造費も却々高く從前は噸八百圓乃至一千圓で出來たものが今はその倍も懸るのだから迚も生優しいことでは出來るものでない今度の大戰亂では又潜航艇の威力が認められた結果門外漢は一律に巨艦巨砲主義を排斥し潜航艇のやうに小型で

▽威力の猛烈 なものを濫山造るが好いと云つて居るが是は本當の素人考へである成程潜航艇の威力を認められたとは事實であるが是は主として武裝せぬ商船を對手とするので軍艦や驅逐艦に對しては左程驚くべき威力を示して居らぬ元來潜航艇は奇襲用として他の艦艇と併用すべきもので堂々たる大海戰に是ばかりを使用する譯には行かぬのであるそれに建造費こそ廉いが動かすのに却々金が懸るから結局は小艇も巨艦と餘り變らぬ事となりこの點から云つても矢張り海軍の主力は巨艦巨砲主義でなくてはならぬと云ふ事に歸着する

◇伏見元帥宮 御風氣

伏見元帥宮殿下には御風氣に罹らせられ偶に大演習陪觀を御見合せ在らせらる（東京特電）

◎各國領事團も 三鞭の祝盃を

擧げて光榮の戰爭休止を祝つた

アルサス・ローレンは取返します

獨逸の休戰條約調印の報を齎して十三日午後佛國領事館に領事ガロア氏を訪へば氏は快げに手を握りて語る『實は昨日其話を聞きまして今朝總督府に久水外事課長を訪問し詳しい報告を得まして世界人類幸福の爲めに

聯合軍が光榮 ある條件の下に 戰爭を休止

した事を喜びました、在京城各國領事團も之に對し祝意を表する爲め先刻倶樂部に集合しまして三鞭の祝盃を擧げ今漸く歸館して皆記者を相手に戰爭の話をして居た所です。巴里も十一日は大變な騷ぎでしたでしやうマーお掛けなさい。獨逸のバーバリアンは各國共に堅く決して獨逸人は文明人では無いと云つて居ますが其癖今度の屁古垂れ方は何うです泣言なぞを並べてゐるではありませんか。獨逸は怎うなるかと云ふのですか社會黨が非常な勢力を得て來た所から考へても

共和國を現出

するでしやうネ 佛蘭西は千八百七十年以來の怨がある譯、アルサス、ローレンの二州は取返さなければ、それに數億法の償金も取らねばなりません、世界の地圖はドウ塗替られるか最も興味ある見物でしよう。戰後の經濟戰？左樣各交戰國共に大いに努める事になるは判り切つてゐる

◎惡感冒 海軍兵學校を襲ふ

三殿下御在校

江田島海軍兵學校にては各地に流行の感冒終に同校をおそひ三百名近くの患者を出したり同校には本期御卒業の武彦王殿下を始め第一學年の博忠王、朝融王兩殿下の御在學ある事とて患者は消毒の上病室に收容隔離中にあり此上の罹病者なかるべきも大警戒中にあり博忠王殿下は輕微の御風氣にて兩三日休學されしも十日より全快あらせられたり右につき同校軍醫長は語りて曰く三殿下の御在校中とて一同恐惶し奉る所なり病勢は豫言し得ざるも終熄せん見込みなり卒業式は如何なる事情あるも廿一日にて變更せず御名代の宮御差遣の有無は拜察する限りに非ず（吳電）

◇新任大野朝鮮軍參謀長◇

◎朝鮮を偲ぶ大野少將

『十餘年振だから見當がつかぬ……』

‖軍參謀長として赴任される少將邸を訪ねて‖

◇家族も朝鮮に行くのを喜んでゐるよ

夜の裡に拭い去れた雨雲は一點の影も止めず麗らかな日足は名殘の秋を[illegible]つてソヨ吹く風も快よい十日四谷區[illegible]から電車を降りて市ケ谷町の邸に新任朝鮮軍參謀長大野豐四少將を訪ふ[illegible]令孃十歳の榮子孃と六歳の[illegible]孃とが愛くるしい目もとに笑み湛へてこちらへと導く應接はお父樣さんと仰いつしよに

▲朝鮮に いらつしやるでせうと尋ねると『エヽ行くのよ…』…でもお父樣は十二月にいらつしやるけど私等は二十四日頃にお母樣と御いつしよに行くの』と無邪氣な答、猶『朝鮮つて所はいゝ所ですよお嬉しいでせう』と記者の顏ばさも嬉し相に『エヽ』と記者の顏を仰ぎ見る罪の無い顏は一入に愛くるしい、日當りのいゝ二階の間に快く迎へた少將は

◇『イヤいよ／＼朝鮮◇に行く事になつたよ』

こいふのがはじまりで『朝鮮には日露戰爭當時も矢張軍參謀として居たが其時代には自分達の頭も眞に軍事上のことだけに働いて間なども考へはなかつたものだが今日では非常に進歩してゐる相だからあちらに行つたら又一入の感興が湧くだらう何分にも日露戰爭當時の朝鮮は未開極まつてゐたのだからね、自分達も陸行で京城から義州迄行き更に京城から馬で元山の方にも行つたんだが其時代義州から京城に向つて或る地點迄は

▲鐵道が 出來てゐたものゝそれでも未だ不便で交通上の不便はとてもお話にはならぬ位だ然し其時代から仁川などは日本内地と大差もなかつた樣だつたが今日に於ては其當時から十餘年も經過してゐるのだからなア日露役以前に自分は京城にゐたが慶北城の城壁を取毀した時などは市街が一變したからねエそんな事から

◇朝鮮の發展を想像して見ると一寸見當が◇つきかねる』と暫しは今昔の感に堪へてゐた少將は聽て記者の問ひに大笑しつゝ『何家族？家族は妻と一男四女さ……イヤどうも兒子が悪くていかぬじやて男は既に士官學校にゐる武城（二〇）一人であとは十二歳になる香子を始め和子兒子と皆女だからねエどうも心細い譯さハヽヽイヤ家族の者等も皆朝鮮に行くのを可成り喜んでゐるらしいよ是から寒くなるから内地で見られぬ鮮の氷さしみの氷漬なども隨分珍らしくていゝだらう』といつに變らず少將の元氣は旺盛だ（東京支社）

◎京城圖書館

愈々實現の計畫を進めつゝある

中村精七郎氏の寄附金七萬圓を基礎として 場所は朝鮮ホテル東宣化門内

◇智識階級の數で三都に次ぐ京城!!!

京城に圖書館を建てる議は久しい以前からの問題であつたが漸に中村精七郎氏が圖書館建築費として七萬圓を寄附し愈實現の機運を見やうとして居る目下之に就ては總督府學務課で一切の

▲御膳立をする事になつて準備を進めて居るが右に就き總督[illegible]能はずで何人も早く出來ればと望んで居る事であらう近來眼に見ゆる程である云ふ事で讀書力は却々に旺盛になつて來て居る然し何を云ふにも建るとしても先立つものは費用で外國の如く教育費や

▲圖書館 等へドシ／＼寄附する者の多い所は困難は無いが日本では怎うも左樣には行き兼ねるのであるが今度幸に中村氏が七萬圓を圖書館建築費として寄附されたので之を基礎とし繼續する事にたり一切の經營を府に於て引受ける事にして目下建築設計は總督府の岩井技師に囑し學務課で立案する事になつて目下計畫を進めつゝ在るのであるが何時頃出來るかは未だ見當が付く迄に運んで居られ

▲場所は 南大門通りの東拓社と殖産銀行の間を這入つた宣化門内朝鮮ホテルの東に隣接した所を選定したが此處は圖書館として最も好適の地で略京城の中央部に位し便利もよく閑靜清潔で周圍に松も生ひて讀書思索には全く好い場所であると思ふ山口氏の經營に係る南米倉町の京城圖書館を合併するか否かは未だ何等の考へも付はして居ないが私一個の考へとしては相當價格で京城圖書館の譲渡を讓受けた方が相方共よい樣に思ふ

▽…木子…△

李男爵の令孫 日本姓に改姓

◇日鮮同化の實話

李完用侯の令兒なる李允用男の令孫は父男爵の極めて進歩的教育方針から目下錦路小學校に在學中であるが幼少の時から内地人の家庭教師に就いて内地人同様に育てられたゞけに風采は勿論所作から言葉から内地人と寸毫も變らず成績も却々好いと云ふ事であるそれで初めて遭つた者は誰一人としてこの令孫を鮮人と思ふものはなく

◇姓名を聞いて◇

初めて「然うですか」と感心させられる位であるが學校では澤山の内地人子弟の中に唯一つ「李」と云ふ姓が交つて居るので教授上不便を感ずる[illegible]もあるそやらでこの程校長から李男爵に對して相談した結果『李』の字を二字に分け内地式に「木子」と名乗る◇ことにしたので令孫は大喜び早速[illegible]級生に「僕は木子だよ木子つて云ふんだよ」と得意になつて吹聽して[illegible]兎に角立派な内地人になり済し[illegible]た相な[illegible]朝鮮では李氏と張氏も内地式に改姓するが流行したが近来[illegible]上流貴族に是が實行があるのは[illegible]化の一端として慶賀すべき現象と言ければならぬ

府の某氏は語る『何しろ京城といへば知識階級の數から見ても東京京都大阪の三都に亞ぐべき土地で單に勅任官の數から見ても東京の次ぎにあり大學教授の多い京都と相伯仲の間にあるであらう其土地に一の完備した圖書館の無いと云ふ事はあまりに時代遲れの感無きを言ければならぬ

◎伯林市街戰

死傷者多數を出す

革命黨は皇太子の宮殿を占領し群集共和を叫び佛國々歌を高唱す

伯林にて九日夜二時間に亙り激戰あり多數の死傷者を出せり革命黨は皇太子の宮殿を占領し群衆は共和國萬歲を叫びマルセーユを唱へつゝあり（アムステルダム電報）

●マルセーユは彼の有名な佛國々歌なりその由來は隨分古く人の精神狀態として或は怒りしやも知れず文を向けし昨年の面白しマルセーユの國歌は作歌作曲者リスレー氏が佛獨戰爭中一夜にして完成し士氣を鼓舞したるもの佛國にては此國歌の作者の出し歌を高唱せる目的を以て故人の遺骨を巴里郊外の畔しい数会から國葬として巴里市内の有名なるナポレオンの遺骨を收めたる廢兵院に合葬する事となり千九百十五年七月十四日即ち第三共和政府記念日を卜して改葬したのである今次大戰勃發以來佛蘭西では國が學つて此國歌を唱つて熾んに愛國的氣分を高潮した

◎藝妓の家出

百圓札二枚持つて 朝鮮へ渡航？

大阪市北區堂島裏新地金谷町の藝妓こ[illegible]す(一七)は去る四日午後一時頃無斷家出し百圓札二枚を携帶して下關方面に向ひたる形跡あり同人は常に朝鮮に渡航の意を仄かし居たる故關門より乘船するやも知れずとて十一日菊より下關署に保護を願入でたり

京城音樂

古來の音樂 雅樂

一般的にもう少し發達させたい……

平安の時代の頃に於て光[illegible]の[illegible]と云ふ[illegible]宮中[illegible]を張つて當時の貴族及び心ある一般人士に重きをなされた雅樂も年移り星かわりて社會の俗惡に流れた隙間に合はない庭から今では單に宮内省での他では神社寺院の祭典の時たまに行はれるのみで一部の人の頭に何等認められない有様となりましたけれ共日本

▽…古來の 音樂として他のそれに比してその特長とする處も妙味が多う御座います、彼の御大典の時行はせられた五節の舞やその他の事も思はれて殊に私に

▽…雅樂と 申しましてもその通常二十二三種もありますしその外宮内省で奏せられる物も多數ありますのであれでなか／＼込み入つたものです、まあ今日では宮内省の陛下の御前に奏する流れの外はんでこれを御前に奏するのみこなつて居ります、五節の舞なども彼して酒宴に行はれますけれ共普通の場合こんな事は多くありませんまだ[illegible]を以て見ると云ふ事も非常に歴史的で「ですね」斯うした古風な樂に何か上から云つても[illegible]味を以て見るものは[illegible]はれて居るものはその一部に過ぎないのだ樣で之を一般的に發達させたいものでは御座いませんか

▽…伶人は 故人となつた東儀[illegible]氏の[illegible]七人の伶人長神崎[illegible]大郎氏でありました、神崎さんは[illegible]人でありましたが[illegible]は招かれて神樂祭に奏するなどもので[illegible]す、何といつても雅樂の伶人を除くやうになつたのは谷村さんが來られてからですが今後ます／＼研究を積んで立派なものにしたいと存じ[illegible]一回以上の會合をして研究をなして居ります一臨

は宗しく感じられますが一日京城神社に京城の雅樂に就てお話を聞かうと神官の方をお訪ね致しましたら『そうですね日本の雅樂として最も古い歴史と立派な歴史を以て居るのは雅樂でせう、雅樂と共に同じ樂にも入れる琵琶ですね、京城での樂器では純日本樂器の和琴その他支那の樂器ですね

懸賞作物發表

本社が豫ねて懸賞募集をしました各作物は十五日から發刊の本社四千號記念號紙上で發表致しますお樂みにお待ち下さい

京城日報社

演藝

▲有樂館 十四日より新作[illegible]劇[illegible]拾萬の命なる[illegible]ものは新劇[illegible]を上場[illegible]と云ひ米國の[illegible]女優マートル・ゴンザレス[illegible]の出演にして[illegible]なり右外餘興として[illegible]活動を奏するもの[illegible]あり所界の人氣者精[illegible]を[illegible]にて好評を博しつゝあるすべし

▲黃金館 十四日より喜劇二[illegible]に於ける當事の[illegible]一派の出演に係る悲劇「花時雨」（[illegible]）[illegible]好評を博しつゝある上に[illegible]一派の[illegible]四郎五郎一世一代の[illegible]

大提供

四郎五郎一世一代 左甚五郎 全通七千呎

新派 お待兼 大秘密 第五六卷 天城獨演

井上五大悲劇の内 花時雨 四卷

十四日より 黃金館

製繩機 新案特許 綯打機械 大邱本町一丁目 製造元 八谷商店

（集募店賣販約特）

完全なる專門藥 肛門藥商會 京城振替五六二一番

赤熟黑蝦 ぢ 送金ス 七日分一円三十錢 如件 りん病 ばい毒

第二回營業報告

貸借對照表

資産之部		負債之部	
未拂込株金	五九、四〇〇、〇〇〇	資本金	一二〇、〇〇〇、〇〇〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

三巴酒造株式會社

株主總會ニ於テ監査役改選ノ結果重任セラレタリ 取締役 加藤恒

有給外務員招聘 京城本町一ノ一六 東海生命出張所

恩給立替 西村商會

毛皮なめし仕立 江州屋本店

年金恩給 特別低利

代診至急入用 仁川新町 菊地病院

峰尾吾二郎

眼鏡及鎖職人採用 喜多金光堂

店員入用 京城本町 龜屋

獵犬牝 ポインター種 杉野樂器店

瀧川銃砲店

京日案內

かぜつねづつ カギヤヒリン 荒川長太郎

寫眞 京日寫眞製版部

職工募集 鍛冶職工若干名 衡器職工若干名 朝鮮總督府

藥草 製法 無代進呈 東京本郷追分町 日本通信藥學校

男の生殖器病 東京神田カヂ町五 東京眞空療法研究所

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一三七二 一三九〇九番

目前其藥効 使用前に批評は無益 先づ試みよ 目藥 一點水 東京築地一 タイガー商會

內科 小兒科 京城永樂町一丁目（商品陳列館前） 村上病院 院長 醫學士 村上龍藏 電話六二三番

宮內省御用達 櫻正宗 サクラ正宗 兵庫縣魚崎 山邑太左衛門釀造 京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店

謹告 今般專心診療ニ從事仕候 宅診 自午前十時至午後二時 往診 自午後二時至午後五時及夜間九時迄 京城若草町大通り（電話一八三二番） 今村醫院 今村豐八

淫羊藿エキス 通稱 三枝九葉草エキス 大ニ優ル滋養強壯劑 全國一手販賣 京城日報社代理部 朝鮮京城府大平通一丁目 京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

▲軍隊拂下被服類▼ 京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店

母と子 (二十二)

北島春石作 森田久畫

皈宅 (二)

『ですがね。』と、お增は又氣を變へて『志保子の行方が滿更知れない譯でも。』

『あの親不孝め！何處へ逃げたか早く聞かせてくれ。』と、朔平は無暗に急込んだ『俺は直ぐ出かけやうから。』

『それがねえ、わたしにも判らないんですよ。』

『おい、夫婦の仲で氣揣い隱し立ては廢してくれ、俺も近頃はガラ續きで、もう二進も三進も足掻きが取れなくなつた。そこで今度はいよ〳〵猪狩さんから持込まれた縁談を取極めやうと、斯うして此家まで御足勞を願つた譯だが、その肝心な玉に飛ばれて堪るものか。さあ、些とも早く志保子の行先を敎へてくれ。』

『そんな大きな聲を……』と瀕の方を指して『奧にはお客樣があるんですから。』

『誰だ？まさか高利貸が網を張つてゐる譯じもあるまい。』

『ところが、もつと始末の惡い人間ですよ。』

『其奴が志保子の行先を知つて、俺の血を絞らうとするのか。』

『そんなら、伜貸でも摑ませたら濟むもの、、やつぱり志保子が御執心なんだから遣切れない。』

『ぢや、大方佐久間だらう。』

と、たんに、室内から襖が開けられて

『やー御主人、唯今お歸宅か。』と鐵造が眞赤な面を突出す。

朔平は急に大辭したらしく喫驚した。

『これは佐久間さん……手前も御覧の通り强か酩酊。丁度、他にも友達を引張つて來たので、これから改めて飮み直すことに。』

『いや、お留守中に押掛て、すつかり御馳走に……』とは言つたが凄い眼の活動を見ると、大分心の緒を締てゐるらしい。

『時に、志保子さんの件はもうお聞きなさつたらうな。』

『いや、何うもその。』と言ひつゝ、それと目援して女房に猪狩を別室へ連れて行かせた後、朔平は鐵造の跡から奧の間へ入つて行く。

『何分不在中の出來事なり、唯今やつと歸宅したばかり、委しい事情を聞く隙もないが、實際志保子にも困つたもので。』

『なる程、親子となれば然うあるべき事。貴方の御心配はお察し申すが、今度のは第一附物がよろしくない。』

『へー附物とは？』と朔平は呆れ氣味。

『すると志保子が親の目を盜んで不埒をしましたかい。』

『あツは、、、それ程騰が据つて居れば結構だが。』とニヤ〳〵笑ひ『何しろ、岸上から離別されてより既に三年、未だに我娘が忘れ兼ねて居るとは、志保子さんも些と未練が多すぎる樣みありだ。』

そこまで開放的に出られると、朔平にも大分あたりが付いた。

『とかく燒け木杭には火がつき易いもの！、あれほど虐待されて追出された忌々しさを忘れ、志保子が岸上に誘出されたので。』

『それこそ飛んだ觀察違ひだ、今ではお葉と云ふ繼女房のある岸上が、何で先妻を見返るものか。』

『とすれば、先方へ殘した娘に逢はうとでも……いや、幸枝を盜み出して姿を隱したのぢやごわせんか。』

『うむ、高松さんの天眼通には恐れ入つた。で、次手にお手の筋で出かけ、その行先も占つて貰ひ度いものだ。』

『いや、その先は。』と、俄かに氣が脫けたやうにグッタリ『佐久間さんのお力を拜借せんでは見當が付きません。』

『さうだ！その行先を突止めたのは儂以外にないからな』と遂に於て鐵造は傲然と空嘯いた『まづ當分は志保子さんを家出したまゝに打捨て置くかね。』

京城明治町一丁目
入院 隨意
胃腸病院
電話一一五九番
院主 佐々木杏造

書画用 紙 畫絹
京染吳服商 ゑまや出張所
京城永樂町 電話二一九六

○反物の善惡を見分ける法

冬着や初冬着の支度で呉服屋は忙しくなりました、ところで不信用の店へ行くと隨分酷いものを押し付けられる事がまゝあります、そこで極簡單に呉服反物の品質を判別する方法を記して見ませう

◇安か●ら惡からうで安いものはいけません、先づ染色物ですが、これは御存の如く歐洲戰爭で染料が高いため保證の出來ない品物が多い手近に試驗をするには指先に水をつけて絲の先を擦つて剝げるものは必ず色がつきますもつと叮寧な試し方は布を水に浸して別の布でこすつて見るのです粗質のは布へ色がつきます久留米で色の落ちるのは上垢で實際は剝げるのではない、それから凡て

◇糊で かためた物は良くないこれは水にひたすとべた〳〵になるから直ぐ分る大體に淡色は剝け易い近頃流行の薄色淺黄は鹽基性の染料を用ゐてゐるので日光に對すると色が褪やすい、又絹布の變ぜを見分るには大體目方で見當がつく無いのはしつこりとしてゐるが、有るのは地の厚い割合に

◇目方 が無い又布を二枚にして指先でこするとさら〳〵してゐるのは本物です又酸性の染料を溶かして其中につけると絹絲は直染まりますが綿は絕對に色がつきません又燒いて見て絹絲は臭いが綿は臭くない粗物は又水につけて乾かすと艶が無くなります、斯うしたイカモノが不信用な店には澤山ありますから需要家は御注意が肝要です

電話賣買
京城明治町一丁目
萬年社
電話一八四四

日報俳壇

□返咲 (五の日十の日〆切)

○ 浮碧樓

返咲や菓子あまくして奥さんの黑髮

赤兒を大きく負ふ少女返咲歩きます

返り咲く靴下の眞新しき反感ぞ

○ 鳥堂

又この日の母に面す返咲く日の

返咲くものゝかさで問はれ居るべし

—一二〇—

■酒幕吟社詠草(前號)

靑梅

靑梅の枝を飛び交ふ繡眼兒哉　春草
靑梅に淡く流るや母屋の灯　同
靑梅の月に動ける夜鳥かな　同
靑梅の落ちて腐れぬ石の上　湖劍
靑梅の庇に落つる庇かな　同
廢礦に殘る事務所の靑梅哉　香仙
鳩群るゝ石垣高き靑梅かな　同
葉裏に一つ熟れたる靑梅哉　同
靑梅に居箕の埃かゝりけり　同

蚊帳

海の音に寢る宿の蚊帳哉　香仙
窓の下に潮滿て靑蚊帳の月　同
夜雨聽く蚊帳よ湖の宿　同
渡場に古たる蚊帳や朝の月　同
蚊帳吊れば涼風動く一夜哉　湖劍
き蚊帳捕つ射つ宿の一暗哉　逸名

夕立

夕立晴れし野に峙つ城趾哉　春草
砲台が煌めく沖の夕立かな　同
夕立雲を洩れなかき夕日哉　同
孕む帆に夕日が照る夕立晴　香仙
蜘蛛の闇に溜る日影夕立晴　湖劍
蟬の涼しき家のゝ夕立晴　同

皮膚科 外科 專門
京城太平通二丁目
扇田醫院
電話二三五八番

讀者の領分

▲北米倉と長谷川町の角にある水の栓は時々放水したまゝ放つてあるのを見る十日朝の如きは一杯に溢れて道路は宛ら小川のやうになつてゐた、あつたら水で道路に其用栓を使用した者は其の隣の者に望む(通行人)

▲明治町淺川商店に於て去る六日綿入はがきを御買求め成被たる一内地人のお客樣に申上候御買求めの際店内に置き忘れ在りたる御品物は貴方樣の品に相違なく候間御一報下され度く候へば早速受取に參上致すべく候(淺川商店)

▲自活女さん兎に角左記へ御出になるか然らざれば御住所御記しの上郵送下さい(京城西部義州通二の一二中田一郎)

◇會員募集◇
珍書 配本
江戸時代人情本洒落本の絕版物を會員組織にて內容見本日記込次第進呈す
東京神田表猿樂町廿一 トモヱ文庫

大正八年日記値段表

博文館 當用日記 一圓 九十錢 七十五錢 六十五錢 五十五錢 (書留郵送料 拾四錢 各拾錢 各六錢)
博文館 懷中日記 三十二錢 二十八錢 二十二錢 二十四錢 (各二錢)
家庭日記 中形 七十錢 八錢
東文日記 當用 七十八錢 八錢
懷中 五十二錢 四錢
積善館 當用日記 七十五錢 六十五錢 六十二錢 六十錢 九十錢 (拾四錢 各八錢 六錢 四錢 六錢)
積善館 懷中日記 四十二錢 二十七錢 十四錢 十三錢 二十五錢 三十錢 (各二錢)
以上の外婦人日記家計簿等到着致居候

京城本町 大阪屋號 電話六八四番 振替京城二五七三番

りん病 せうかち
淋病消渴で困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を無代で敎ゆ
名古屋府かじや町 武藤龜吉

▲美味なる 虫下し 最良藥
定價 五錢・十錢・廿錢・五十錢
岩崎大海堂セメンプ菓子
美味なる ▽虫下し最良藥 登錄さんとにねくわー
商標 开瑠駕屋漫菓子
本舖 大阪天王寺烏居前角 岩崎大海堂
▲内外藥店にあり
效能
蛔虫諸症 疳蟲 蟲熱 夜泣の蟲。乳あまし 蟲腹痛み。疳熱の蟲 蟲胸惡く。勞熱の蟲 蟲せき。驚風の蟲
近來粗惡なる紛物續出す鳥居の御注意を乞ふ 岩崎大海堂に御注文を乞ふ

是れ以上の美味と滋養の調味料は斷じてありません

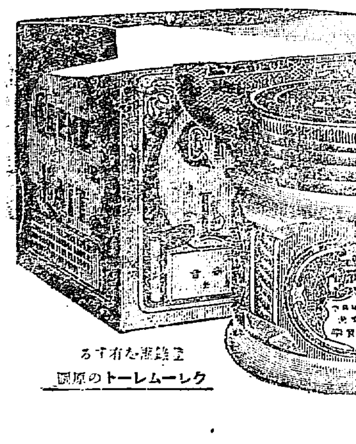
あらゆるタベモノのアヂをよくする

お吸物の中、味噌汁、茶碗蒸しの中へ味の素
さしみ燒海苔香の物の醬油に結構な味の素
ゴの物や和へ物の味付には天下一品の味の素
スープ、ソースの中へ入れゝば其風味百倍す

味の素

味の素は小麥より精製せる純白無臭の粉末で獨特の美味と豐富の滋養分あり容易に水又は湯に溶解け使用法極めて簡便也

味の素・子供印滋養糖本舖
鈴木商店
東京 大阪


クレームレートの原圖
登錄商標有する

美容界唯一の
クレムレート
斷じて他には類のない 若々しくする新美膚料

▽第一動物性脂肪がない
クレームレートは他のクリームと違つて純植物性ですから、少しも膩な臭がせず、附けて氣持がよろしい。

▽お手輕に出來る美顏術
クレームレートの成分は附けると直ぐ皮膚に溶け込み自然にお肌を整へて美顏術が手輕に出來ます。

▽粉刷き化粧には頗る妙
クレームレートを下地に引いた上へレート粉白粉で粉刷きをすれば質に美事に美くしいお化粧が出來ます。

東京 平尾贊平

新案特許

福タワシ

福タワシ一名洗濯ブラツシ
最も進歩した構造を有し價低廉洗濯用として布地を傷めず手數を省くタワシに用ひて内部に汚物が挾まれば掛輪を外し除去する事を得、一度御試しの上御愛用を願ます

▲福タワシ販賣者に御注意
本品の外に類似品あり御注意下さい 新案特許の品に付御安心の上御販賣下さい

本社 東京市深川區古石場町
高木商店
出張所 大阪市西區江戸堀南通五

○間島の牛車數 間島地方にては島二千三百九十五、海蘭河以南七千九百五同以北五千九百八十二臺にして白豆搬出上甚だしく運送力に不足を感じつゝありこの事なるが最近……

讀者文藝 課題及び募集規定
募集規定 ▲用紙は同形の用紙一枚毎に雅號の外に住所氏名明記の事▲締切 毎月九日十日發表 ……一等は五十錢商品券を呈す